

幼の教育

第 二 十 七 卷 十 月 號 第 九 號



東京女子高等師範學校內
日本幼稚園協會

奈良女子高等師範
學校教諭兼訓導
橫井曹一先生著

菊判箱入
定價金壹圓八拾錢
送料拾八錢

新刊 兒童手工學習指導

機械的他律的模倣から脱した手工學習指導

最近、職業教育の高唱せらるゝ機運に際し、初等教育に於て最も重要な地位を占むべき手工教育に對して本書はその最も重要な使命を擔ふて居ります。即ち本書の活用にあつては、從來の唯單に指導者の詰込主義に依る機械的、他律的の模倣製作の規範から脱して、兒童自から自己の生活から學習の題材を選ばし、表現の材料を蒐集し、形狀寸法構成を立案し、自律的に自己發見の技巧に依つて藝術的、立科學的製作を爲さしめ得る様に力め、作法の會得と創作の暗示を與ふべく遺憾なきを期して居ります。従つて初等教育家、手工科指導者乃無二の寶典です、必携を希ひます。

東京女子美術學校教授
山本キク
先生新著
版十三訂新撰裁縫教授法

全一冊洋綴
插畫百餘
定價貳圓貳拾錢
送料拾八錢

透徹した理論と技能
神に入る實際の諸姉
め文檢受驗の諸姉

現在の裁縫教育界に於て技術と學理併用の鑰匙を明示せるもの本書の右に出づるものなし、本書の發行以來既に十三版を重ねたる事は最も確證なる立證たるべし、即ち斯界の權威山本先生は本書の發行最も豊富なる教壇上の種畜を傾倒し、多數の插圖實例を示して體系的組織を以て學理と技術を指導詳論したれば、教壇上諸姉の教科指導の参考書として、且又文檢受驗者に取つては根本的の善知識として眞體を把握し得べしと信す必携を乞ふ。

文學士
青木誠四郎譯
版新
保育學校實際研究

全一冊洋綴
定價八拾錢
送料六錢

最近ニューヨークに於てその實際を實驗研究せる結果であつて幼い小供の教育にあたられる教師保海清氏へす、む。

久保良英
青木誠四郎
新刊
幼兒之研究

菊判洋綴
定價四拾錢
送料拾八錢

低學年、幼稚園の保育は本書の根本であり、本書はそれ等を知ると共に、我學界の等々研究の發見を網羅す。

東京音樂學校教授
中田章著
新刊
マーチ・アルバム

大判一冊
定價一圓廿錢
送料一圓八錢

英美獨佛露等各國の代表樂曲作曲家の名曲中、快優美にして、専ら學校音樂教育本來の目的に合致すべき進行曲目州曲を選定せり。

發行所 東京市牛込區文館書店 電話 三三三 番七二五

望月クニ、田中銀之助著二 四六倍版縮クローヌ金文字、定價金貳圓五拾錢、送料拾貳錢

幼稚園、小學校
家庭に於ける

創作唱歌と遊戯

小學校の初年級、幼稚園等に課すべき、眞に兒童の實生活を、考慮して作られた唱歌遊戯の教材がなくて因るといふ事は、わが教育界至る處に於て常に耳にする聲である。此の時に當り、かの幼兒教育の元老であり、權威である望月女史、並に初等、中等教育界に於ける作曲の權威田中先生は、其の滔々盡くることなき、日頃の蘊蓄を傾け、心血を注いで、本書を上梓し、之を世に公にし、以て現下教育界の要望に添ひ、初等教育、幼兒保育の上に一大福音を齎せられたのである。

◀ 本書の内容及特色 ▶

- 一、幼童の心的生活を基礎とし、情操陶冶の實を擧ぐるに最も適切なる内容を有す。
 - 二、右の見地よりして、特に作曲に意を用ひ、兒童の音域、並に音樂的趣味の程度、歌謠能力等を考察し、しかも曲趣深遠にして永久兒童の腦裏を去らざる、最も意義あるものとして作曲せられたり。
 - 三、曲には悉く平易にして趣味深き伴奏を附す。
 - 四、遊戯しつゝ唱歌を歌ひ、歌ひつゝ遊戯をなすを主體とせるも、亦遊戯を離れ單に唱歌として唱ふる事を得る様にも仕組まれたり。
 - 五、平常の教科とくは勿論學藝會、唱歌會等に演奏せしむる材料豊富。
- 尙附録として
- 1、平常の授業並に運動會に出演すべき運動教材、遊戯教材等を掲載せり。
 - 2、著者の創作並に創作ならざる歌曲にして家庭材料幼稚園小學校教材として最も適切なるもの二十餘種を掲載せり。

發行所

神戸市下山手通六丁目三番
振替口座大阪八〇六八五番

保 育 研 究 會



育教の兒幼輯編會協園稚幼本日

會長

東京女子高等師範學校長

吉岡郷甫

主幹

東京女子高等師範學校教授

堀七藏

贊助員

東京高師教授

巖谷秀雄

東洋大學教授

棚橋源太郎
田子一民

東京帝大醫科講師

乙竹岩造

東京府女子師範學校長

高島平三郎

東京高師教授

太田孝之

帝國教育會理事

龍山義亮

慶應大學教授

大瀨甚太郎

松江高等學校長

土川五郎

東洋幼稚園長

唐澤光德

京都帝大教授

野口援太郎

早蕨幼稚園長

岸邊福雄

東京女子高師教授

乘杉嘉壽夫

帝國教育會會長

久留島武彦

東京女子高師教授

弘田長

東京高師教授

澤柳政太郎

東京帝大教授

倉橋惣三

東京女子高師教授

佐々木秀一

東京帝大教授

松村武雄

東京女子高師教授

菅原教造

奈良女子高師校長

松本亦太郎

醫、文博

富士川游

奈良女高師附屬幼稚園主事

榎山榮次

東京市教育局長

藤井利譽

東京帝大教授

三田谷啓

東京女子高師講師

藤五代策

東京帝大教授

川正雄

文部省

福士末之助

東京女子大學長

湯原元一

文博

谷本富

東京女子大學長

吉田熊次

安井哲子





第 二 十 七 卷 幼 兒 教 育 の 第 九 號

口 繪 梓登り	二頁
内親王殿下御誕生
私の視察した歐米の幼稚園教育	堀 七藏.....五頁
幼稚園の懷舊を辿りて	望月くに子.....一八頁
幼児の身體教育に就いて	宮田覺造.....二四頁
成田幼稚園	山口 政.....二七頁
開けてびつくり物語	金子彦二郎.....三一頁
童謡遊戯の振について	戸倉ハル.....四一頁
マッチ箱の手工	山 形 寛.....四四頁
童 話	水谷年 惠.....五〇頁
童 話	A B C.....五三頁
遊戯 紅葉	土川五 郎.....五九頁
南滿行	倉橋惣 三.....六二頁

最新刊

文學士 倉橋惣三氏序
日本幼稚園協會編纂

本田庄太郎畫伯
裝幀及挿畫

幼見の樂しむお話

東京市日本橋區大傳馬町二丁目

内田老鶴圃

振替東京二二四六番
電話浪花一三三五番

◆◆◆◆
送定價料 金十 八 錢
紙數 四〇〇 餘頁
四六版特製函入

子供はお話を聞きたがる。親も先生もお話をしてやりたい。しかし材料がない。無選でないが選ばれてゐない。實際選擇せられざるお話は大切な子供の前へ持ち出せないのである。その選ばれたお話の集が此の書である。誰れが選んだか、東京女子高等師範學校の附屬幼稚園で幼兒達自身が選んだのである。即ち同園で日々話される多くの話の中で幼兒の最も樂しむお話を集められたのである。現に幼兒の樂しんだお話をすべての家庭と幼稚園とへ一番確實に奨めることの出来るお話である。小さいおさんは此儘讀んで樂しませて貰へる、大きいおさんは自ら讀んで樂しむことが出来る。いづれにしても廣く家庭と幼稚園と小學校には是非共備へられなければならぬ物である。

倉橋惣三先生序
日本幼稚園協會編

幼兒に聽かせるお話

四六版特製本
紙數六二〇頁
定價三圓八十錢
送料十 八 錢

文學士 倉橋惣三氏著

幼稚園雜草

四六版上製本
紙數五二〇頁
定價二圓五十錢
送料十 八 錢

萬國幼稚園協會案
日本幼稚園協會譯
倉橋惣三先生序

幼稚園保育要目

菊版上製函入
高雅なる裝幀
定價一圓五十錢
送料十 八 錢



(一) リぼのくわ



(二) りほの枠



號九第 育教の兒幼 卷七十二第

月十年二和昭

- 一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。
- 一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園教育であります。幼稚園教育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。
- 一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園教育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。
- 一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園教育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。



内親王殿下御誕生

内親王殿下御誕生あらせられたるにつき即日官報號外を以て左の如く中外に公表された。

宮内省告示第十五號

皇后陛下本日午前四時四十二分赤坂離宮に於て御分婉内親王御誕生あらせらる

昭和二年九月十日

宮内大臣 一 木 喜 徳 郎

賜劍の御儀

皇后陛下には日出度も内親王殿下御誕生遊ばされたるにつき早くも御誕生の十日午後御劍を賜ふの儀が赤坂離宮旭の間に於て行はるべくこの御劍及び御袴は珍田侍従長が勅使として賜はる筈である、なほ御七夜の來る十六日には御父陛下御宸筆の名記を賜はる即ち御命名の儀並に賢所、皇靈殿、神殿に御奉

告儀、續いて古式に則り浴湯の儀の諸儀が莊嚴裡に舉行さるゝことに決つた。(九月十二日東京日々新聞)

第二皇女御體重 (宮内省發表)

新内親王殿下の御體重、御身長につき宮内省では十日午前七時五十分左の通り發表した。

御體重 三千三百グラム(八百八十匁)

御身長 五百八ミリメートル(一尺六寸八分)

きのふ初めて親しく御授乳

皇后陛下も新皇女様も御健やか

目出度くも第二皇女を擧げさせられた皇后陛下には御産後の御經過御順調にわたらせられおよろこびに明けた十一日午前十時頃には新皇女様に親しく初の御授乳を遊ばされたと承る、御父陛下におかせられても御姉君とならせ給うた照宮さまを伴はせられてしばし皇子室をお訪ねあらせられたと拜するは長き極みである、新皇女さまにも極めて御健かにて山岡女官が一切のお世話を承つてゐる、なほ十二日には來る十六日の御七夜にとり行はせらるゝ御命名の儀、宮中三殿奉告の儀、並に浴湯の儀等の時間割を決定することになつた、皇后宮職の岡本事務官は『新皇女さまには十一日午前四時半頃初めて木内乳

人が御乳を差上げました。晝間は勿論御寝につかせ給ふまでは皇后陛下御親から御授乳遊ばされます、陛下の御乳は極めて御充分の御模様に向ひました』と謹んで語つてゐた。(九月十二日東京日々新聞)

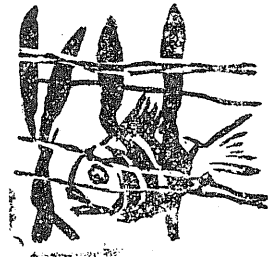
第二皇女御命名

今上陛下第二皇女には去る十六日七夜の佳日に御命名式行はせられ左の如く宮内省告示を以て發表せられた。

九月十日午前四時四十二分御誕生あらせられたる内親王御名を祐子と命ぜられ久宮と稱せらる。

昭和二年九月十六日

宮内大臣 一木喜徳郎



私の視察した歐米の幼稚園教育 (五)

堀 七 藏

一、ノーラン、トバレス、スクールの幼稚園

ノーラントバレススクールは西ロンドンのケンジントンにある私立學校であります。この私立學校は普通の住宅を學校に當てたものでありますから、各教室は廣くはありません。一學級二十人の兒童が入れる教室が大きい方があります。尤も私立學校でありますから、公立のインファントスクールの如く四十人五十人の幼兒が一教室にあるのではありませんので室が小さくとも差支がない筈であります。それでこの學校では幼稚園時代の幼兒から高等女學校程度までの生徒が在學してゐます。男兒は十一歳から十三歳までの間にロンドン市の試験を受けてセンドリースクールやバブリックスクールに入學いたしますから、中學校程度の男生徒はこの學校には居ません、

この學校は私立てではあるが、相當長い歴史を持つたよい學校であります。設備は中々に完備して居り

ます。幼稚園時代の幼児の教室にはいろ／＼のものがありますが、特に目につきますのは窓ぎわに數多く鉢植があります。私の參觀したときは十二月一日でありますから、自然草花などはありませんが、いろ／＼の球根を土中に入れた鉢が澤山あります。支那水仙であるとかチューリップなどが芽を出しかけたり大分伸びたものなどがあります。是等は皆な幼児が水と與へたりいろ／＼のお世話をするのであります。またきれいな砂を砂箱が教室の一隅にあります。ロンドンでは室外に出ることの出来る天候のときが少ないのと、室内の學習作業と結付けて砂遊びをさせるために特に室内に設けたものでありませう。

大きな箱ではありませんがいろ／＼のものをつくる事が出来るから至極よいものであります。我が國では砂場が運動場にあるべきは勿論であります。雨天のときとか冬で霜解けがするといふやうな日には室内で砂遊びをさせることも甚だ肝要と思ふのであります。兎に角この幼児の室は廣くはありませんがいろ／＼のものがあつて一層狭く見えます。

この學校では普通住宅の芝生庭に相當する所に講堂を兼ねた體操場遊戲室があります。こゝで特に幼児のバンドを見ました。太鼓とかかねとか或は木片とかを打たゞきつゝ、リズム運動をするのであります。手足がリズム的に運動することは幼児生活に於て非常に肝要なことであるからであります。拍子と調子は音樂を構成するものであります。調子は子供には困難だから調子の變化を主とせず拍子を主とした樂隊を幼児にやらせて居ります。幼児も皆なそれ／＼音を出すものを以て運動するといふ有様であ

ります。これは我が國でも大に考慮する必要がありませう。小さな子供が茶碗を打ち音をたて、喜び、更に之をリズム的に行ふといふ時代に發達するのでありますから幼稚園に於ても音を出す玩具で音をリズム的に出させる練習を行はしめ、他方には之を聽分けることによつて耳の發達を促す必要があります。せう。勿論ピアノで高尚な音曲を弾き幼児の耳を發達させることも、蓄音器をかけて高尚美妙な音楽を幼児にきかせることも大切であります。しかし幼児各自が樂器を使用することは一層重要であります。そして幼児各自が使用し得る樂器はオルガンよりもピアノよりもまたヴィオリンよりも太鼓やかねやまた木片の原始的なものでなくてはなりません。原始的な燥音でも茲に拍子が入れば樂音となり、幼児には十分快感を與へ幼児の耳を發達させるには至極適切なものでありませう。この點を考へるとどうしても我が國の幼稚園にはモット原始的な方法で根本的に音樂趣味を養成する工夫と樂器とが必要であります。などと實は感心して參觀したのであります。

二、二三のインフアントスクール

イ、十二月九日ガールガイトの見學に行つた序にホルデンストリートのロンドン市公立小學校にあるインフアントスクールを參觀いたしました。茲はテムス河の南どちらかといへば工場も多い貧民や勞働者の多い地方の學校であります。それで普通のインフアントスクール(幼稚園學校)と異り四歳前の幼兒をも收容し、朝の八時半より午後四時まで保育をなすのであります。尤も十二時より二時まで晝食の時

間があり、その時は幼児も家庭に歸るのであります。ペービスルームを見ると可成廣い室で、普通のインフアントスクールの如く一人掛の机腰掛がない。その代りに四五人の幼児が取圍んで作業が出来るテーブルが幾つかあります。そして壁にはいろ／＼子供の繪がはつてあり、また子供の遊び道具が澤山あります。一定の時間表があつて大體順序をたて、幼児が生活をするやうになつてゐるが、小學校のやうに一人掛で一齊に教授が行はれるといふのではありません。幼児は三十五六人で晝寝する臺が數多くあります。鐵脚でズツクを張つたもの、疊ひことが出来る至極簡單なものであります。この組ではまだクリスマスに餘日もあるので特別な裝飾が出来てゐませんが、他の教室にはいろ／＼のクリスマスの裝飾が出来て居ります。教師と生徒との合作でありますからまだ出来上つてゐません。何れクリスマスになると完成することであり、之を學校の年中行事に入れてゐることは面白いことであります。我が國ではお正月は休業中であり式があるだけだから特別な裝飾も出来ません。せめて三月三日、五月五日のお節句や三大節などは十分利用して幼児の生活内容を豊富にすることが肝要であると思はれます。

ロ、十二月十六日 マルメスブルグ、ロードの公立小學校を參觀いたしました。この學校には男女兒のインフアントスクールがあり、デュニヤスクールと稱し男女兒混合の幼年組があり、更に女子部男子部とに分れてゐます。インフアントスクールのペービー組では粘土細工と切紙細工をしてゐます。教室の周圍にはクリスマスの飾がしてあります。それから滿九歳までの組の遊戯を見ると體操でも遊戯

でも至極自然的なもので何等の無理がないには感心いたしました。我が國の遊戯は外國の大人がなすフオルクスダンスなどを焼直したのか、在來の盆踊や仕舞の手を眞似したものが多から兎角無理が多い感じがいたします。よくもあんな眞似が出来たと感心はいたしますし、小さな子供が大人の眞似をしてゐるから大人には可愛ゆいには可愛いのでありますが、子供の立場になると氣の毒に感ぜられるものが多いのであります。もつと自然に幼児の手足を動かし全身を活動させることが出来るものを工夫せねばなりません。外國の子供の遊戯を模倣するならばまだよいが大人の舞踊をその儘とつて以て我が國の子供に強ひる今日の幼稚園遊戯は根本的に改善せねばならぬとつゞく應じたのであります。このインフアントスクールは東ロンドンで貧民の多い學區にありますから四歳、五歳、六歳、七歳、八歳、九歳と更に特別組と稱し年齢の異つた特殊兒童を收容した組とあります。それで一組の幼兒は四十人から五十人もあり更に女兒のインフアントスクールがあるといふ工合であります。そして男女兒を混合したその上の學校があつて更に男兒小學校女兒小學校と分離してゐる譯であります。

ハ、ミッドロー公立小學校を參觀いたしましたのが十二月十七日。この小學校は一階が男子小學校二階が混合の幼年小學校、三階が女子小學校となり、別館平屋で幼稚小學校があります。西ロンドンのハムステットにある小學校で、矢張り工場が多く貧民が多い所にあります。このインフアントスクールを參觀すると矢張クリスマス準備が出来てゐます。入口の廣い室が講堂であり、遊戯室であり高い臺

があり、その横にピアノがありますからお話をするとかまた簡単な幼児のお伽劇が出来るやうになつてゐます。クリスマスストゥリーが出来てゐるし、サンタークロースの繪があり、色紙のいろ／＼な裝飾があり常緑木の枝葉も多く利用してあります。幼児は一組に矢張四十人から五十人ゐて、服装もきたないし身體も不潔であるのは貧民の幼児なることを明白に物語つてゐます。ペービー組は三歳から五歳までの幼児を集めてありますから我が國の幼稚園であります。それで講堂の周圍に特殊兒童の教室、四歳組ペービー組、五歳組、六歳組、七歳組、八歳組、九歳組と八教室が並んでゐます。どの教室からも皆なこの講堂であり遊戯室である室に出入することが出来るのは誠に便宜であります。尤もロンドン市の如く教室の方向や日當りなどを考慮する必要のないところでだけ出来る相談であります。

尙ほこの學校を參觀した時感じた二つのことがあります。その一は特別兒童の組では本來の低能者、欠席のために劣等生となつたもの、病弱兒童を集めてゐるのであります。學校看護婦が来て幼児に手當をなし老練な女教師が熱心に個別的取扱をしてゐます。一兒童の持つてゐた地理讀本を見ると世界各國兒童の學習状態が書いてあります。その中に日本兒童の學習状態を書いた所があります、挿繪を見ると朝鮮の寺小屋の寫眞であります。鮮人が長い煙管をくはへその前に二三人の子供がすはつて字を書いてゐる有様があります。そして説明には日本の子供は床の上にはつて學習してゐるといふやうに書いてあります。こんな讀本が今日でもロンドンの小學校兒童の教科書となつてゐることに驚きます。我國

が如何に野蠻な未開國と考へられてゐるか想像出來て残念にも思ふのであります。これは英國人の非常識を證明する一例證でありますが日本に電話があるかといふことを相當教育のある人々の口から尋ねられることがあります。また丸帯がどんなにしても分らない。どうしてこんなところにポケットがあるかこゝに子供を入れて負ふのかなどと尋ねられると噴飯せざるを得ないのであります。しかし我が國を正當に理解させることも必要なことで我國からヨーロッパに行くものが悉く五十年六十年又は百年前の風俗畫や景色畫だけであり十分の説明も行はぬから彼等の誤解も無理からぬとも思はれます。美術品は美術品として土産とすることはよいこととありますが他方には現代の日本を正當に理解させることも肝要であると思はれます。何時までも未開國民の取扱を受けることは面白くないのであります。

他の一はこの學校で貧民兒に晝食を給與してゐることとあります。貧民の兒童を多く收容してゐるこの學校では榮養食としてパンとスープ、プツデングを與へてゐるが日本の離炊に似たものでライスを使つてゐるのであります。我が國では病人の食物といへばパンを食べるがよい位に間違つた西洋崇拜から考へてゐますから注意せねばならぬと考へます。節約の意味から來るとか食料研究の問題から米飯の代用を求めることは決して悪いとは思はないが飯よりもパンが上等だとか消化がよいとか誤つた考から出發するパン食獎勵は三省せねばならぬと思ふのであります。

三、幼兒の健康診斷

ロンドンカウンティ、カウンシルの小學校ではインフアントスクールの幼児即ち満五歳以上の幼児は悉く體格検査を施してゐるのであります。しかし満五歳以下の幼児の健康診断を無料で施す健康研究所（ヘルスインステチュート）が到る所にあります。十二月十五日午後ロンドンのハムステットにあるものを參觀に行きました。午後二時半より四時までその地方の五歳以下の幼児が澤山に來てゐます。母親が抱いてまた乳母車に乗せて嬰兒から幼児を連れて來るものの中々混雜してゐます。普通の住宅を利用した研究所でありロンドン市で無料で健康診断を行つてゐるのでありますから病院へ行くのとは異り澤山貧民の幼児が來てゐます、身長、體重を測り内診する等澤山の醫者や看護婦が手分けして診断をして母親にいろ／＼保育上の注意をするのであります。勿論研究材料をも得るのであります。主とする所は幼児保健のための施設であります。地下室には寄附金で幼児の食物、着物、玩具類の安賣りをなし茶菓を母親達に供給してゐます。これは一は保育の材料を安價に供給して幼児の保健につとめ二には正しき保育、幼児に適當な衣食の材料はどんなものがよい玩具は如何なるものか理解させること、三には茶菓を與へて幼児の診断を受けさせる工夫であるやうに考へられます。貧乏人の子澤山は英國でも同様でありますから保育事業は貧民階級勞働者社會に於て非常に肝要なことを念頭に置いた社會事業の一であります。慈善事業として誠に適切な有效な方法であります。

四、ナーセリースクール

一、最近英國に於てナトセリースクール(保育學校)が大に發達し英國教育組織の基礎をなすに至つたことは誠に注目すべき現象であります。この保育學校の運動は幼稚な時代より幼兒保健の條件と巧妙と看護を施さんとする大なる動機から出發してゐるものであります。最近の心理學に基き幼兒に適切なる教育を施さんとする一大精神を出發點としてゐます。それで保育學校は幼兒の身體並に精神の發達を充分考慮せねばならぬ。身體の榮養が悪く身體的保護が不充分では精神發達を十分望むことが出来ない。而して身體の發達にのみ留意することは幼兒の完全なる發達を阻害することを自覺して完全な保育を行ふことを主張するのがこの保育學校の運動であります。

一體幼稚學校の運動はロバートオーウエン氏が幼稚な時代に受ける環境の影響が非常に深甚なるものであることを痛感したことから起つてゐます。それで一八一六年オーウエン氏が創始せるニューラナークの幼稚學校に於て氏はその所信を實現し健全なる幸福な事情と自由な活動より來る幼兒の發達が如何に著しきものかを證明したのであります。しかし英國に於ける後繼者達はオーウエン氏の大目的と方法を直に忘却して只行儀よく幼兒を行列させそれ〴〵机に向つて腰掛させて之に教授するやうな間違つた方法で幼稚學校を經營する有様に變化したのであると申します。

所が一八五二年以來フレール氏が幼稚園に實現した教育の理想が英國の幼稚學校組織に漸次普及し幼兒の自由活動並に遊び作業の方面が尊重せられるに至りました。けれども多くの幼兒を集合させてゐ

る學級と多くの不衛生な條件が現今も尙ほ幼稚學校一般に残存してゐるのであります。更に汎愛的な努力によつて貧民窟群集が不衛生な生活をなす社會に於ける幼兒に對し自由幼稚園を英國の大都市に於て設置せんとする機運になつて來ました。その第一の自由幼稚園が一九〇〇年に至つて出來ました。即ち幼稚學校とは獨立に三歳より五六歳までの幼兒を三十人か四十人の組に集め健な發達に適當するやう環境を整理し遊ぶこと、自然に接觸することによつて教育せんとする自由幼稚園が出來たのであります。勿論この自由幼稚園に於ては教授は後廻となし幸福な幼兒同志の生活によつて身心の圓滿な發達をなさしむることを理想とし家庭と密接な共同をなして教育の効果を擧ぐることに努力するのであります。この自由幼稚園の數は甚だ僅少であつたが今日の保育學校運動の先驅をなし保育學校の指導となつたのであります。それで一九〇八年に出版せられた教育局の報告中に保育學校の設立が確實に認定せられ次の二つの理由より保育學校の必要を認められたのであります。

- (一)、現時の幼稚學校は衛生的條件に於ても精神的作業に於ても幼少な兒童には不適當であること。
- (二)、五歳以下の幼兒が學校に入學することを許さないときは大多數の幼兒が終日何等保護せられずために不適當な不良な習慣を幼兒に馴致すること。

尙ほ英國に於ける自由幼稚園と同様、フランスに於ける母親學校その他の諸國に於ける研究が成功せる有様を考察して英國教育局評議委員會は五歳以下の幼兒にも適當な教育施設、家庭に於て適當な保育

を受けることの出来ない凡ての幼児に對し進歩した方法で身體並に精神に善良な發達を促進することが至極肝要であると決定した次第であります。

二、英國の保育學校は以上の如き起原を有するのでありますが一九〇八年その必要が確認せられて以來大戰の刺激によつて一層痛切な問題となつたのであります。尤も一九〇七年學校兒童の醫療検査の研究より學校入學前の間に幼児の醫學的監督が非常に肝要なることが明白となつたのであります。五歳より幼稚學校に入學する幼児に見る身體的方面の缺陷は大部分五歳以下の間に醫學的監督によつて除去し得ることが明白となりました。また近時發達せる母親並に嬰兒の齒科手當をなす學校の増加は初生兒の死亡率や疾病率を減少することも確實となりました。それて嬰兒の保健に必要な注意は母親のよく採用するやうになりましたが尙ほ嬰兒の生活と學校生活との間には大きな溝があり各兒童についての身體的記録が缺けて居ります。生れて初一年を除いた發育の旺盛な時期を等閑に附することは國民體格の向上の爲め甚だ遺憾な點が多いのであります。所が二歳以上の凡ての幼児に開かれる保育學校は實にこの溝に橋渡をなすものであります。この點から保育學校では規則正しき監督、疾病の適切なる手當、食物衣服、習慣に對する充分なる注意及び保健に必要な環境をつくること甚だ肝要であるとせられるのであります。

保育學校の效果は家庭と密接なる共同理解によつて擧げ得るものであります。場所が廣く新鮮な空氣

入念の清潔は多くの家庭では到底望まれないが保育學校では準備せられ得る所であります。しかし幼児の生活は保育學校に於て僅かに一部分行はれるにすぎませんから成るべく家庭生活が保育學校と同一歩調であることが肝要であり少くとも父母が正しき保育の方法を理解して保育學校の施設取扱を模範とせねばなりません。

一九一八年の教育令は英國全般にわたり保育學校の建設を認めましたが一體保育學校は種々あるべきものであります。都會にも村落にもまた聾者にも盲者にもまた病弱の幼児にもなくてはならぬものであります。従つて保育學校でなくとも保育學級だけでもあることが肝要であります。保育學校を設立するには種々の困難がありますが多くの費用を要することはその重大な困難でありますから保育學級でもよいのであります。保育學級は幼稚學校と保育學校との中間に立つもので幼稚學校に附設し得るのであります。幼稚學校の日當よき室を選び適當な玩具を備へ時間表を除き睡眠時間を設けて二歳乃至五歳の幼児を收容すれば保育學級が出来ます。勿論幼稚學校と區劃せる運動場特別な便所装置、十分なる清潔法を講ぜねばならず教師も特殊な修養をしたものを採用せねばならぬのであります。それでこの保育學級は比較的經費が少くてすむのであります。保育學校を特設するに超したことはないのであります。

以上は大體英國に於て保育學校發達の狀況を述べたのであります。我が國に於ても同様この保育學校を多く設立せねばならぬ機運になつてゐると思はれます。

我が國の家庭は歐米の家庭の如く分化してゐませんから幼児の保育は主として家庭に於て行はれて居りその方が今日適切と考へられてゐます。しかし我が國が多産の國であつてまた多死殊に嬰兒の死亡率が甚だ大なる事實は明かに家庭に於ける保育が適切でないことを物語るものであります。いろ／＼の原因が存在するのであります。が嬰兒幼児の適當なる保育方法を十分理解せずまた保育が適當に行はれないが爲めに犠牲となるものが死亡しまし、疾病にかゝるものであります。小學校に入學するまでに健全な發達をせず不良の習慣が馴致せられてゐるものが多いことを考へると幼稚園が非常に肝要であり保育學校が重要であることが明白であります。幼稚園は富者の幼児が入るよりも貧者の子弟が是非入らねばならぬ。保育學校は幼稚園にて保育を受けることの出來ぬ幼少なものが入るもので一層肝要であります。尤も昨年制定の幼稚園令によると單に滿四歳五歳の幼兒を收容することのみならず英國の保育學校の精神をも採用して二三歳の幼兒をも保育し得るやうになつてゐるのであります。しかし我が國には未だ保育學校の精神を採用してゐる幼稚園滿二歳より五歳までの幼兒を收容してゐる幼稚園は殆どないと思ひますので特にこれより英國に於ける保育學校について詳細な説明をしたいと思ふのであります。大體はマクミラン女史の保育學校の實際、グレスオーウエン女史の保育學校の教育等を參考として英國保育學校の狀況を説明するのであります。

幼稚園の懷舊を辿りて (四)

望月くに子

三 神戸の保育 (前々號續)

十年一昔といふことがありますが一昔を其地方の保育事業に盡くされたと云ふことだけでも己に其人が其土地と其事業とにビタリ合はねば出来な
 いこととありますから私はまことに貴い事だと思
 ひます。殊に二タ昔即二十年近く又は夫れ以上と
 なれば猶更にむつかしく熱心と健康と信用との三
 者を具備せねば出来ないのですからその様な御方
 は實に至寶として尊敬すべきだと考へられます。
 今現に神戸地方に奉職して出でになる御方と且
 は又己に退職なすつた方々に夫に該當すると思は
 れる方の御名を掲げさせて戴いて御禮を申上たい
 と思ふのであります。

- | | |
|--------|-------------------------|
| 榎本 常子氏 | 元兵庫幼稚園長 |
| 松本 春枝氏 | 元松壽幼稚園長 (今六甲にて御
經營中) |
| 和久山さそ氏 | 頌榮幼稚園保姆 |
| 三宅 夏氏 | 同上 |
| 青木ます子氏 | 善隣幼稚園保姆 |
| 笹山 壽代氏 | 香盛幼稚園長 |
| 豊島 スエ氏 | 住吉幼稚園長 |
| 中島 うめ氏 | 御影幼稚園保姆 |
| 石田 ゆき氏 | 元神戸幼稚園保姆 |
| 小林まさゑ氏 | 精道幼稚園長 |
| 太田 澄江氏 | 西郷幼稚園保姆 |
| 小笠原松枝 | 平戸八重の兩氏は他市に御勤め |

の分を加算すれば三十有餘年になります。

私立幼稚園の設立者として

末正久左衛門氏 末正幼稚園

タムソン氏 善隣幼稚園

アントニー氏 聖家族幼稚園

太田隣氏 信成幼稚園

中澤利介氏 平安幼稚園

鷺塚清氏 兵庫北部幼稚園

大前光太郎氏 香盛幼稚園

右の方々を推すべきだと思ひます。

保育所におつとめになる方々では

河村 眞氏 八幡保育所主任

星合さめ氏 同上 保姆

田村フサ氏 水筈保育所主任

河合ふて氏 兵庫保育所主任

有田とよ氏 楠保育所主任

以上凡て次第不同

主として神戸市及隣接武庫郡の方々を記しました若し遺漏と間違がありますれば何卒御増補訂正を願ひ上げます。

神戸市には市立としては神戸、兵庫、楠、清風西郷の五幼稚園あるのみ實に貧弱でありますが幸ひ私立には頌榮、ランバス、善隣、松壽、昇天、千鳥、聖家族等の基督教主義の幼稚園及佛教主義の城口、常盤、須摩太子館、慈光等の幼稚園あり普通の幼稚園としては住成、平安、兵庫北部、雲中、鐘紡、末正、須摩の浦、香盛等の幼稚園あり(他省略)

武庫郡には御影、魚崎、甲南、住吉、遊嬉園、等を始め猶幾多の幼稚園があります。然るに

幼稚園の要求は益々多く各園皆満員の有様なるは全く前記諸氏を始め職員凡ての熱心精勵の結果に外ならずと常に深く感激して居る次第であります。

乍併尙神戸市の兩端、郡部の村々には一園だに設けられざる處があるので實に氣の毒なことであります。私共保育者は一層努力して全幼児が幸福である様にこの煩雜な家庭で充分な家庭教育を受け得られざる子供の爲に層一層努めたいと存じまして頭が一ぱいになつてゐますのでつゝおかやうなことを認めました。

新幼稚園令では三歳以下の幼児をも保育し得ることとに成りましたのは誠に當を得たことでありますから神戸市の保育の内容を記す前提としてまづ今回は保育所のことを記させて戴きます。

神戸市には戦役記念保育會經營の四保育所と市經營の二保育所とがあります。戦役記念保育所は明治三十七八年日露戦役の際神戸婦人公會の事業として創設されましたが實に我國保育所の嚆矢でありまして其頃全國の模範と稱されました。戦後一旦婦人奉公會と共に解散しましたが前には軍

人遺族の保護に力めしを更に繼續擴張して一般勞働者の乳兒、幼兒を預り彼等をして安心して其生業に従事せしめんとする真に隣保相助の美舉であります。會名を戦役記念保育會といひ神戸の婦人方の誠に貴き事業であります。

此事業を主張し最初より一生懸命に自ら保育の任に當りたる御方に岐阜縣人太田恒子刀自（大阪商船會社專務太田丙子郎氏の母堂）がありまして粗衣粗食勤儉己を修め他を勵まし細民の出産には自から産婆となりて之を助け或は貧民に生業を與へ貯金をすゝめ十有八年實に模範とするに足るべき生活をなさいました。四五年前退職老を養ふて御出でになりますますが御年は當年七十一歳とさいて居ります。而して今日に於ても猶保育所の爲に古き衣類を集め又は寄附金を爲し陰に陽に力を添へて下さいます。かゝる熱心な博愛なる方々の力に依つて此事業は發達して來たのであります。

其他保育所主任は勿論職員の精勵振りは實に涙ぐましさ有様であります朝は六時頃より母の負ひ來る乳兒幼兒をも預り午饗の時などは保姆が一人又は二人の嬰兒を負ひながら數名の二三歳の子供を前にならべさじを以て雀の子の様に口あけて待つ子供らに柔かき食物を喰べさせらるゝもあれば一人を負ひ一人を抱き猶且搖籃をゆり動かさるゝ

もあり其勞其愛ととても筆紙に盡くされませぬ。夕方勞働より歸り來る母に其子を渡すまでの責任の重さかよわしと言はるゝ婦人もかくてこそ眞に強しといふべきだと思にれます。御參考の爲に戰役紀念保育會の事業の一斑を御覽に入れます。

戰役紀念保育會事業一斑

- 一、兒童の保育 滿六歳以下の細民の兒童を預り晝食及間食等を與へ尙幼稚園的教育を施し事情止むを得ざる者に限り學令兒童をも預り學資を給し附近小學校に通はしむ。
- 二、兒童の施療 各科専門の醫師に囑託し兒童の疾病を施療し尙トラホーム種痘等の治療をなさしむ。
- 三、貯金の獎勵 兒童及家族のために郵便貯金の取次をもなし勤儉貯蓄を獎勵す。
- 四、保育所の位置及定員

蘆原保育所	蘆原通六丁目	壹百人
八幡保育所	磯上通五丁目	壹百人
楠 保育所	楠 町七丁目	七十人

水笠保育所

水笠通三丁目

六十人

計

三百三十人

五、創業以來收容兒童出席延人員(自明治三十九年十一月至昭和二年三月)

男 五七八、八三三人

女 五三五、〇七五人

計 一一三、九〇八人

六、昭和元年度中收容兒童出席延人員保育所別

蘆原保育所

一五、八〇二

一〇、一五二

二五、九五四

八幡保育所

七、五七七

一一、二九七

一八、八七二

楠 保育所

男

八、九八一

女

九、四二五

計

一八、四〇六

水笠保育所

五、二七〇

五、一二四

一〇、三九四

計

三七、六二八

三五、九九八

七三、六二六

七、昭和二年六月末現在收容兒童年齡別

一歲未滿

一四

一〇

二四

二歲

三六

三一

六七

三歲

三八

四三

八一

四歲

五四

五二

一〇六

五歲

四五

二一

六六

六歲

男

三〇

女

三七

計

六七

七歳	一八	二九	四七
八歳	二	三	五
八歳以上	二	三	五
計	二三九	二二九	四六八

經費一ケ年

金貳萬七千參百五拾圓也

内 譯

金貳萬貳千參百五拾圓也

保育所費

金五千圓也

事務所費

以上

市經營の保育所は兵庫保育所、生田川保育所の二つであります。りますから省略いたします。

生田川保育所 幼兒七十名 乳兒十名 此事業もまだ一發達して親たちから安心して
 兵庫保育所 幼兒六十五名 乳兒五名 成業を爲し子供等が適當の教育を受け得るやうに
 したいと切望してゐます。

設備、經營内容等戰役紀念保育會と大同小異であ

(神戸保育つよく)

幼児の身體教育に就いて

東京女高師 宮 田 覺 造

學校教育に於ける身體教育に就いては、當局も實際家も常に考へられ研究も進め、近來著しい進歩を示してゐるのであります。さきに文部省は學校體操科の身體練習材料に大改正を加へ、これが實行について、種々の施設をいたしまして兒童生徒の身體教育の實を擧げんと考慮されてゐることは國民體力増進の上から見ましても、國家百年の基を築く上から見ましても誠に愉快な事でありま

す。私どももその改正につき責任の一部を擔當いたしますのでありますが、小學校に於ける身體練習の考察要點として考慮いたしましたことは、幼學年の材料選擇標準やその實施の方法でありました。效

果價値の多い材料を定められた時間の中で愉快に行ひ、身體の發育を助長せしめ、精神の教養に最も有效ならしめ、道徳的訓練を施すためには、如何なる材料を選ぶかと申しますならば、仲々議論の多いことであると思ふのでありますが、此の度の改正すべき重なる要項として擧げられ種々の材料を示されたうちで、幼児の身體教育に對して一つの目標を立てたものも見得るのであります。

幼稚園教育に於ける身體教育はどの點から見ましても、全教育の中核であり、根底であり、出發點でなければならぬと考へるのであります。

園児の身體教養を捨てた時は、幼稚園教育は殆ど空虚なものと申してもよいと思ふのであります。

す。しかも園児の身體活動は各種の方面から觀察も出來、指導も出來得るので、所謂肉體的價値のみを考ふるわけには行かぬのであります。智的に道徳的に情的に、その表現は多種多様であります。身體教育を通じて人間、完成の基礎教育と考へたときには、園児の身體教育こそ最も重要なもので家庭及び學校の教育を研鑿して一層組織的な系統ある教養をせねばならぬと考へるのであります。

我國に於ける幼稚園教育に就いて、動もすると誤られ易いのは、身體教育であります。「幼稚園」この言葉それ自身が身體活動について消極的な養護、保護、看護といふ事實と一致して仕舞ふので近來我が子の發育を見るにつけ、園児の活動を觀察するにつけ、兒童心理の考究を進むるにつけ、園児の遊戯的生活を考慮して益々幼兒の身體教育を考へさせられるのであります。

元來幼稚な兒童の身體教育には二つの方面があ

ると思ふのであります。それは消極的な方面と積極的な方面とであります。消極的な方面と申すのは身體を保護し養護して行かうとするので、平かな、危険もなければ、落つる心配もない、よし落ちたとしても絶對安全で何一つ危険が伴ふと云ふ様な事のない安全な道を辿る身體教育の方法であります。

積極的な方面と申すのは、山もあれば谷もある。滑かてすべる所もあり、危険物もあれば落つると云ふことも伴ひ易いやうな身體練習の方法であります。この二つの教養の過程を考へて見たときには、現今の園児の教養は消極的にのみ陥つてゐるといふ傾向が見えるのであります。

園児そのもの、自然的な身體活動の實狀はどんなものであるかと申せば心身發育の狀況に依つて多少の差異はあるけれども概して云ふとむしろ積極的な身體活動を好み、原始的な動物に近い勇敢

な活動の多いことを見るのであります。扉に昇り木に登り、屋根に上り向上的満足を好むもので、滑べる危険を冒してその頂上に上り天下を征服せんと苦心するのであります。扉を上げるといたしても低い廣庭では満足せず、小高い丘に上り崖の上で走り廻つてゐるので、かれらの生命はこれら活動のうちに自ら發展しつゝ培養されて行くものであります。

勿論これのみが園児の生活の全野ではない。模倣や想像も旺盛なことは日常生活にも仲々多いばかりでなく、科學的に研究もし教養せなければならぬ。旺盛だからといつてお人形遊びや、口笛のまねごと、ダンスのまねごと、兵隊ごっこや、主人お客料理のまねごとをしたからとて將來國家の大事を司るところの大人物養成の全部ではない。築山を造つたり、汽車を木片で作つたり、お池を拵へたり、動物や自然物に親しんで一年間を過ぎることが、園児の全生活でないかと考へるのであります。

私はむしろ今後に於ける園児の身體教育は、自

然的な方法と、科學的な方法とに依つて系統ある立案の下に身體各部の教養と、精神的修練とを個人的に培養して行かねばならぬと考へるのであります。高い櫓を眺めてはその頂上に昇らんとする爲に、圓い眼をして地上をあらちらに走り廻り、誘導する保母の言葉耳にせず小板を捜し廻る心こそ尊いものではないか。小板を斜にかけ上肢と下肢とで、匍匐しながら僅づゝ揮身の勇氣を拂ひ、かぢりつきつゝ上りつめる努力こそ身體的に精神的に價値あることではないかと考へるのであります。やれ一段高き所に上りつめても満足せず更に頂上に上らんとして工夫する身體の身振ひも深い考慮を拂ふ點であります。次より次に上り頂上に上りつめ更に満足せず滑り落つる足をも工夫して踏みしめ手をはなし立ち上らんとするその心的要求から出た活動の痛快さ眞實の叫びではないかと思はれるのであります。將來を樂しむことの出来る人間を教育する道程はこの自然的な活動、心から出た工夫、自己の活動に伴ふ満足が唯一の教育材料であり、身體發育の教養手段であると信ずるのであります。

成田幼稚園

千葉縣成田幼稚園 山口 政

當園は關東の靈場として廣く世の人に知られて居る千葉縣成田山新勝寺が明治三十八年六月日露戰役の記念として向臺と云ふ高燥な一區域に設立されたものであります。

成田山では只今中學校高等女學校圖書館感化院とこの幼稚園を併せました五事業を經營されて居ります町立の小學校を了へた子供達は遠く通學の不便もなく居ながら中學や高等女學校へ通ふ事が出來て勉學の資料として右の圖書館で益々研究する事が出來るのであります。

この五事業は丁度五人の兄弟の様に親しく手をとつて各自の勤めにいそしみて居ります。

園の敷地は參千百八拾九坪職員室、保育室、園

長室兼圖書室、應接室、靜養室、玩具室遊戲室二棟の附屬住宅小使室等約參百坪の建坪であります。

幼兒は百名を四組に編成三年保育でございます年少の組は二十名を限度と致しまして百名を五人の保姆で分擔致してをります。

園の經費の點に付て特殊な方法で致してをります事は年度の初に豫算額を定めない事で四月より翌年三月迄必要に應じて購入し年度末になつて支出の總額を計上し決定するのであります其の必要品の購入は全然一任されてをります。主任は經費の支出方法には極めて豊富な氣分で處理する事が出來る他に類のない方法かと思ひます。

園主兼園長は成田山貫主荒木僧正で外に理事會

計主任園醫と五名の保母で此園に盡して居ります。

遊園は貳千八百餘坪全部芝生になつて居ります。花壇藤棚砂場も所々に散在し幼兒は一人參拾坪近い遊園をもつ事となつて居ります。

園内のさくらは近年枝葉がのびまして花の頃は殊の外美しく眺められる様になりました成田では花の名所の一つとして又櫻雲臺とも申します。秋の紅葉も又春の花に劣らぬ程園内を彩ります。

庭には蒲公英がみどりの芝生の中に黄いろに萌えてゐるのも美しい又クローバの白く咲くのも奇麗なものであります。

春咲くりんどう、筆りんとうも苔りんとうも澤山咲きますりんどうは幼兒の手にとるにふさわしい。小さなお花雀の豌豆、鳥の豌豆も幼兒の心を喜ばせます摘みとつた小草はおまゝごとの御馳走に樂しみます夕方つぼんで朝また開く庭せきし

やうも可愛い、お花が簇り開きますので幼兒はいつも笑顔でながめてをります都草、母子草、螢袋の外に名もしれぬ數々の小草が密生致して居ります。つばなとりも幼兒の樂しむ遊であります。

廣い庭にはいろ／＼の蟲が飛てをります。蝶や蜻蛉も時々保育室に飛び込んで幼兒を喜ばせたり又お話の材料となるのであります。風のまにまにお部屋へ散り込むみぢ葉も風情のあるものでござります。

今は庭に飛ぶバッタなどの蟲を追つかけて男の子供はどんなた元氣だかしれません。

庭でつみとつた小草は砂場の花壇を作つたりしの竹や笹の葉は動物園のやぶともなれば砂池に浮ぶ笹舟も容易に出来ます。幼兒が摺った摺紙の籠に根のまゝの可愛い、花を植ゑ家土産に致す事もござります。

春は咲き亂れた花の下に秋は紅葉散りしく芝生

の上にお母様方のお心づくしのお辨當をあちらの芝生こちらの小山に三々五々集まつて楽しく食事をとる事も屢々ございます。

庭に大きな一株のざくろの木があります今澤山美しい實を結んでをります。毎年ルビーの様な小粒のざくろを幼児の作つたカバンにお土産にするのも間もない事です。

初夏の頃十坪程の畑に大きい組の幼児達が三粒づゝ種子蒔いた落花生が花をもちまして形丈は出来ました。ある日この實らない落花生を少し掘り出して幼児が頂く様になるまでの順序に付て面白く觀察を致しました。甘藷も小さい畑にもう大きくなりました。やがて掘り取る楽しい日も近づきました。そうして土の中から一つのつるに幾つもの実が付いたまゝ掘り出した時の幼児の喜びに充ちた笑顔を今から嬉しく思つて居ります。掘り出した落花生や甘藷はおみやげとしたり又小

さい組の幼児達をお客様にして楽しい試食會を開きます。

本縣名産の初が茸毎年園内の土手や芝生のあちらこちらに可愛い姿を見せますのも近くなりました芝草にかくれた初茸を一つ見付ても大騒ぎ二つ三つ四つ一つ所の茸をさがし當た時の喜びは又格別でございます。

松露も少しばかりございます。

丁度幼児がとるに都合のよい低い大きくない栗の木が四五株ありましたが枯れまして今一株になりました幼児の背のほど小さい木に今年十個ほど實をもちましてこの間二つとつてお話の材料になりました今七つ八つ幼児にやるには數の足りないのてさも欲し想にながめてをります。

園の庭續きの野山に今栗が澤山ございます。園内に巢を作つてをります栗鼠がいくつもいくつも出て参りまして熟した栗をふり落します。そうし

て口でしつかりもつて枝から枝へ栗を巢へ運びます、いつまで見ても興味の深いもので幼児は聲高く飛びはねて喜びます。

成田山では大正八年から一百万圓を投じまして工事を初めました五萬坪の公園が立派に出来上りました。幼児は四五町隔てた公園へよく一日の楽しい遠足を致します。團栗や椎の實が落葉の中に澤山落ちてをりますので幼児は幼稚園とはちがつた自然に恵まれました木の實拾ひを致します。美しい池のほとりや芝生の上で舌鼓を打つてお辨當を頂きますのは限りもない喜びでございます。

私はいつも自然の天地に恵まれた幼児達の幸福を感じます。狭くはない園舎内で唱歌や遊嬉をしたり畫を描いたりお話したり致しますがそれよりも廣いひろい庭少しも危険のない静かなみどりの庭移りゆく四季折々の自然の庭に幼児の心を美しく又やさしく導かれてゆくことを嬉しく思ひま

す。そうしてかゝる環境で幼児の談し相手となつて居る事を幸と存じます。

小さい狭い成田町も電車が通ひます。幼稚園下と云ふ停留所もございます。近頃上野行兩國橋行汽車の外京成電車が開通致しまして成田押上間を一時間と三十分で往來がてきますので日に月に進まれる都の様も容易に拜見することができます。今後皆様の御研究の跡を辿りまして道のためにつくし度と存じます。

草深い幼稚園に遊ぶ幼児の日常生活の一端を申上げて筆をととむ。



開けてびつくり物語

金子彦二郎

一

「正直爺さん ポチ連れて

うらの畑を掘つたれば

大判小判が

おあくおくおつくおく。

意地悪爺さん ポチ借りて

うらの畑を掘つたれば

瓦や瀬戸かけ

があら／＼があらがら。」

これはむかし／＼其の昔、其のまた昔の大昔の話であります、これと丁度同じことが、現にこの昭和のめでたい大御堂にもあつて、私どもがぢ

かに其の話をきき、其の寶物の寫真も見られるといふのは何といふ面白いこととせう。

二

昭和の正直爺さんは淺見龜吉といふ人で、あの秩父嵐に名高い埼玉縣秩父郡蘆ヶ久保村に住んでゐた織物の行商でありました。

子供の時から、まるで神様のやうな正直なさうしてすなほな心の持主でありまして、父母や先生のおいひつけに背いたことは一度もなく、お友達と言ひ争つたこともないといふ善人でした。そしてまた大層情ぶかい人で、どうかすると世間の子供たちは、學校通ひの道すがらなどに、用もないのに路傍の草や木の芽や枝を手當り次第折りむし

つたり、それから又鶏なり犬なり、或は餘所の村の子供なり、見つけ次第に石を投げつけたり、悪口を言つたり、いぢめたりしたがるものですが、

この子供時代の龜吉さんに限つて、決してそんな無茶なわるふざげや亂暴などは致しませんでした。いや自分がしない許りてなく、お友達がさういふことをしようとすると、きつとやさしく諫めて止させる役をつとめるのでした。そんな風ですから、自分はもとより、決して生き物をいぢめたり他村の子供に犬をけしかけて吠えさせたりしないばかりか、盲目滅法な蚯蚓が道の真中へても匍ひ出してゐるのを見つけようものなら、皆はわざ／＼下駄で踏みつけたり、唾をかけたりにして行き過ぎるのに、この龜吉さんだけは、きつと「あゝ、そんな處にゐると、車の轍や馬の蹄にかゝつて殺されてしまふよ。」といったはるやうに言ひきかせながら、側の叢の中へ送りこんでやるのでし

た。それで誰いふとなく、みんなこの龜吉さんのことを佛龜吉々々々と言つて居ました。

三

龜吉さんは大人になつてからは、親ゆづりの秩父銘仙の行商を承けついで、一年の三分の二は、親の代からの御得意さきである中國筋から九州方面へ出かせぎにまゐりました。もつて生れた正直と情ぶかい心とが、そのお得意さきでもすつかり認められましたので、「龜吉さんの銘仙は品がよくて丈があつてさうして値段も安い。」といふ大變な信用を博しました。ほんとに「正直は最善の商略」であります。そんな風ですから、中國筋や九州方面のお得意先では、すぐ近所の町の呉服屋にも同じやうな品がいくらも積んであり、又同じ銘仙の行商も幾人となく廻つては來ますが、「もうやがて安心して買へる龜吉さんが廻つて來る時分だから。」と言つて、他からは買はずに待つてゐてくれ

るといふ有様でした。そんな頃に嵩高かさたかな荷を背負つて汗を拭き〜来る龜吉さんの小さな姿を村端れなどに見つけますと、懐かしい親戚の者の歸郷でも歓迎するかのやうに、村人達は小手をかざし足をつまだて〜待ちうけてくれるのでした。

「どつこいしょ。」

といつてお玄關に荷をおろすと、「やあ、御苦勞々々々。」と言つて、お茶を入れてくれたり、國の妻子は無事でゐるか。「など、優しい言著をかけてくれたりするのでした。するときつと、柔和に小腰をかどめた龜吉さんは、改まつて

「まづ〜、皆さま御機嫌さんで。又お品のよい新柄も澤山持參致しましたから、どうぞ相變らず御引立をお願ひ申します。お蔭業で國許では皆々無事息災で過して居ります。へえ。」

ときまつたやうに挨拶して、お得意様達の好意に報いるのでした。

こんな風で澤山仕入れて來た秩父銘仙は、ずん／＼はけていつて、時には品不足をさへ告げるこ
とがありました。

四

龜吉さんのうちはもと／＼村での舊家である上に、何でも先々代の頃には随分手廣く商買をやつて居り、それに物數奇から、いろ／＼と珍らしい品を、どつさり買込んで土藏の中にしまつてあるといふ噂でありました。龜吉さんはそれを亡くなつたお父さんからすつかり聞いても居つたし、其の在りかもよく見知つて居ましたが、とにかく感心な心掛な人なので、先祖や親達の遺してくれた財産を當てにして頼つてゐるやうでは、男と生れた意氣地がないと思つてゐましたので、一切それらには手も觸れず、たゞ／＼正直と勤勉とを資本にして前に述べたやうに仕事に勵みましたので、涼しい秋風が吹く頃にはたんまりとお金を儲けて

は、いそ／＼と妻や子が頸を長くして待ちこがれてゐる故郷秩父の山本へ歸つて來ました。

お父さんのお歸りといふと、妻のおりうさんはじめ、長女のおとよさん、次女のつるよさん、三女のはなえさん、それから一番年下の長男の京三さんの五人の喜びは大したものでした。かうして佛のやうなお父さんを中心に、素直に穩かに生ひたつた四人の子供たちは、世間の不景氣も知らずに何不足ない楽しいお正月を幾度か迎へ送りしてゐました。

しかし人の世ほど分らないものはありません。こんな楽しい家庭にも、思ひがけない黒い冷たい嵐が吹き込んで來たのです。といへば大がいがお察しが出来ませうが、大事な／＼働き手のお父さんの龜吉さんが、ふと思ひついたのであります。本人も大したことはない。すぐ直ると言つてゐましたし、家の人達も病人の言葉をさいてどうやら落

着いてゐましたのに、急に容態がわるくなつて、あはれ佛龜吉さんは、昨年十二月二十八日、楽しいお正月の支度最中に驚き悲しむ妻や子の聲に取りかこまれつゝ、五十四歳を一期として、眠るが如くに此の世を去つてしまつたのであります。

五

天にも地にもかけがへのない大事な大黒柱を失つて、淺見一家の者達は萎れかへつてしまひました。家中でたゞ一人の男である長男の京三さんは今年やつと十三にしかありませんから、固よりまだお父さんに代つて商買に出られもしませんし、又出されもしません。といつて、折角お父さんの努力で賣り廣めたお得意先を失ふのも惜しいし、第一當分はよいとしても、いづれ暮しにも困つて來るのは知れきつたこと。さてどうしたらよからうと、佛壇の前に集るごとに、五人の親子の口からは長い大きな溜息が吐き出されました。

その歎きを見るに見かねて、お父さんの遺志をつぎ此の窮境にある一家を背負つて行かうといふ大決心をしたのが長女のおとよさんでした。いよ／＼お父さんの百ヶ日の法要も済み、毎年お父さんが中國筋から九州路へかけの旅路に出かける四月が來ますと、健氣なおとよさんは自分の決心の程をみんなに告げ、女の命にもかへ難い緑の黒髪を根元からふつつりと切つて、優しくも雄々しい決心のもとに、銘仙の間屋から四五十匹の銘仙を卸して貰ひ、しつかり荷造りをして、お父さんの控帳に書き記してあるお得意先を頼りに出掛けていつたのであります。さうして只今は九州の方へ廻つてゐるとの便りが來てゐます。

六

おとよさんの勇しい後姿を涙で見送つた弟と二人の妹とは、たゞぼんやり遊び暮してゐては亡くなつたお父さんや、又お姉さんにも相濟まぬとい

ふので、めい／＼自分の得手な仕事を勵んで、少しても暮しの手助をし、心細がつてゐるお母さんを慰めようといふので、朝から晩までせつせと立働いてゐました。

今日も今日とて、二人の姉妹はお母さんのお手傳をして、お父さんの存生中からも殆ど手を附けたことのない土藏の二階の大整理をしようといふので、きりつと襷がけになり、眞黒になつてがら／＼の類の整理や、古箱類の始末をしてゐました。すると二階の隅の方に眞黒に煤ばんだ舊式な長持が一つ頑張つてゐます。つるよさんとはなえさんが、

「この中に何があるの？」

とお母さんに尋ねましたが、前に申した通り、祖先の遺してくれた財産なんかに頼るやうな意氣地ない氣を起してはならぬといふ堅い決心で立つた龜吉さんのことですから、そこに素晴らしい家寶が

秘藏してあるなどといふことは、まだ誰にも知らせてありませんでしたので、永年連れ添つたお母さんも固より知つてゐよう筈がありません。それで

「さあ、何が入つてゐるかね。お母さんもまだ見たことがないのよ。」

といふ頗る頼りない返事しか出来ませんでした。

「何だが、氣味が悪いわね。吉切雀の嘶の古葛籠のやうに、中から一つ目小僧や、お化にでも出られちゃ大變だわ。姉さん明けてごらんよ。」

かういふのは妹のはなえさんでした。

「いやよ、そんな怖いお話をきいちや、ますく氣味が悪くなつて、開けようたつて開けられないことよ。あなたが開けてよ。」

姉のつるよさんは斯ういつて、容易に手を下さうとは致しません。

しばらく譲り會つてゐますので、たうとうたま

りかねてお母さんが、笑ひながら、

「二人ともいやなら、私が開けませうよ。其の代りどんないゝものが入つてゐても別けてはあげませんよ。」

と言ひました。二人は異口同意に

「えい、どうぞ、こんな朽ちかけた長持なんかはどうせ碌なものが入つて居やしないわよ。みんなお母様にあげますわ、鼠の糞も一緒に。」

とからかひ顔にかう言ひ放ちました。

何十年來開かずの長持の蓋は取り去られました。そこには細長いのが、四角いのが大小幾十の立派な桐函が行儀よく入れられてありました。

「あや、お母さん、これ内裡様の函ぢやない？」
妹のはなえさんが、今まで知らずにゐて桃の節句にも飾らせられなかつたことが口惜しいといつたやうに頓驚な聲を立てました。

「さうね、早く見ませうよ。」

と手を出したのは姉のつるよさんでした。

「どんないい物があつても欲しがつてはいけませんよ。約束通りみんな私のですから。」

とお母さんが、又笑ひながら口を添へました。

七

大小さまざまな桐函は明るい座敷に持ち運ばれて、それ／＼蓋をあけられました。それは姉と妹の推察を見ん事裏ぎつて内裡様でも五人嘶子でもありませんでしたが、どれもこれも、目の覚めるやうな、立派な、さうして由緒づきらしい骨董品の類でありました。

隣や近所の人々が寄つてたかつて目を丸くして驚いてゐました。中にいくらかかういふ物に目のある人が、如何にも感にうたれたやうに、

「こりや、大變な代物だ。」

と叫びました。

噂を聞き傳へだ其の道の目利きの秩父神社の園

田さんや東京の専門家がやつて来て鑑定中であるが、光琳の描た畫幅を初めとして、初代乾山が焼いた中皿六枚、名工柿右衛門の手に成つた小皿が六枚、木米の双幅、其の外、古刀劔などどれもこれも天下の珍品揃なので、此の頃の相場に見積つたら三十萬圓が所もあらうといふので、開けてびつくり寶の土藏と、行く末を案じて悲歎にくれてゐた親子のものは、これも有りがたい先祖代々のお恩であり、心掛のよかつた亡くなつたお父さんからの授かり物だと、手をと／＼合つて涙を流して喜びつゝ、すぐ様御佛壇にお明りをあげてお禮參りを致しました。

一家の浮沈の瀬戸きはと、健氣な心をふりたてゝ遠い九州路の果に馴れぬ行商に苦勞してゐるおとよさんの所へも、早速お伽の國のお嘶にもありさうな此の嬉しい便りが届いたこととせうが、その時の喜びはまあどんなであつたてせう。

お話かはつて同じ埼玉縣大里郡の明戸村といふ所に、ことし分別盛りの四十八歳になる菅原某といふ男がありました。親の代までは近郷近在さつての大金持で、翁大盡々々と言ひはやされて敬はれて居たのですが、この人の代になると、お酒は飲む、わる遊びはする、少しのことにも怒つて喧嘩はする、訟訴は起す、あれやこれやで、さしも翁大盡とうたはれた大身代も何時の間にか使ひつくし、家屋敷まで人手に渡してしまふ始末、年取つた両親はこれを苦にしたがもとで五年前に亡くなり、妻も此の亂行に愛想をつかして三年前に家出してしまひ、たつた一人取残された彼は、自業自得とは言ひながら、すつかり尾羽打ちからして、食ふや食はずのみじめな姿で、買ひ手がなないので賣らうにも賣れかなつた先祖傳來の破れ土藏の片隅に、養虫のやうにぼろきれにくるまつて

やうく雨露を凌いでゐました。

若い時から心掛が悪くて、碌なことを致しませんでしたので、こんなみじめな姿におちぶれても隣近所の人達はもとより、親の代まで親しく出入りしてゐた親類の人達さへ、誰一人顧みる者もなく、優しい言葉一つかけてくれるものもありません。しかし生來の我がまゝ者の事とて、結局小うるさくなくてよいくらゐに考へて、土藏の中に残つてゐる小道具類など目ぼしいものから一つ賣り二つ賣つては酒にかへて、さもししい氣ばらしをしてゐました。

九

今日もいつもの如く、居酒屋の縁臺でチビくやつてゐると、珍しい噂話が耳に入りました。

「どうだい、豪勢なもんぢやねえか。大金持のうちと來たら、疊の上を一度掃いても五兩や三兩の金が轉げ出すといふが、全くだなあ。」

「大判小判なんか今までは話にだけきいてゐたが隣村の長井の舊家の土藏を壊したら出たあの一萬兩の小判を見た時にや、あいらはほんとに目が潰れかけたぜ。あいらの先祖達も毀れ土藏の一つも残してゐてくれたら、天井裏からどえらい寶物でも見つけ出してやらうと思ふんだが今更仕方がねえな。」

「さうよ。金瓶かながみの一つも土臺石の下に埋めといてくると、今日けふび日の不景氣にも助かるんだがなあ。そりやさうと、今日の新聞を見たかい。」

「さや、まだ見ねえが、何かよい儲け口ででもありうかい。」

「あいらの方のことぢやねえが、ます／＼あいらも古土藏がほしくなつたよ。」

「どうしたこんだ。古土藏ばかり欲しがつて、鼠ぢやあんめえし。」

「いや、えれえもんだよ。こなひのだの長井村の

掘出し物は一萬兩だつたが、今度の土藏の中から出た寶物と來たら、あいら、耳をほじつてちと保養をさせとけ、三十萬兩が代物だといふぜ。」

「へえ、これ、法螺もいゝ加減にしねえか。小忌々し。」

「法螺ぢやねえよ、これ此の通りちやんと書いてあるんだよ。」

と言つて示した新聞記事が龜吉さんの遺族たちの大にこ／＼語のいくさりでありました。

一〇

この會話を何氣なく聞いてゐた菅原某の眼は、この時異様に輝きました。さうして何となく落ちつかない風にそは／＼してゐましたが、さつきの男が漸く読み終つて、「ふーむ」と大きな溜息と共にはうり出した件の新聞紙を引きさらふやうに手にとると、まるで吸ひ込まれるやうに目をさらし

てゐました。そこには、「開けてびつくり、土藏の中
の珍品、零落した一家に夢の様な幸福が舞込んだ
話」と書いた大きな活字が、彼の目をとろかす
やうに踊り上つてゐました。

息もつがず読み終へた彼は、何を思つたか、無
けなしの金で急いで拂ひを済ますと、まるで逃げ
るやうに繩暖簾をくゞつて出て行きました。

x

それから二三日後の東京新聞に

「……一人取残された菅原某は、先祖が作つて置
いた破れ土藏の中に一人起き伏を續けてゐたが
最近隣村長井村から、家を壊したら一萬圓程の
小判が出たり、秩父からは祖先の残した明けず
の土藏の長持から、三十萬圓程の寶物が出たり
したといふ棚ぼた式の話に、彼は自分も其の手
で一儲けして、うまい酒でも味はうと、二三日
前から住んでゐた土藏の打壊しにかゝり、二十

八日(昭和二年某月)も同様、一人てぼつぼつ取
壊してゐたが、十二時頃、突然大音響と共に、
其の土藏が崩壊して、同人とそれを見物に來て
ゐた附近の子供橋本はま(一〇)ちよび背負つて
ゐた吉田さみ(三歳)が其の下敷となり、重傷を
負つたのを、附近の人々が駆けつけてやう／＼
掘り出し、妻沼町の小沼醫院で手當中であるが
其の土藏からは、鼠一疋も出なかつた。」

といふ記事が載つてゐました。しかも其の見出し
には、

「慾深爺の失敗。あれも一つ土藏から珍品を掘り
出さうとして生埋め」

といふ初號活字の文句が嘲ふやうに掲げてありま
した。(二、九、二五)

童謡遊戯の振について

戸 倉 ハ ル

童謡遊戯は、近頃遽かに盛になつて學校を初めとして家庭や社會教育の中にまで取り入れられるやうになつてまゐりました。これは教育新思潮の

もたらした影響であると思はれますが、兎に角兒童の教育の上から見て誠に喜ばしい現象と存じます。

この際これをどのやうに考案したらよいか、またどう取扱つたらよいかと工夫を凝らすことは、私どもの様に體育に關つてゐる者の當然の務ではないかと思はれます。

これについて、人様いろ／＼の御研究がございませうが、私は、今まで貧弱な研究ではありましたが、機會ある毎に發表もしてまゐりました關係

上、振について、少しばかり述べさせていたゞきます。

素より經驗も乏しいし、學問も浅い私のことですから、さう大した發表がある筈はございませぬ。たゞ斯の道の研究上、多少の御參考にてもなりませれば幸と存じます。

童謡遊戯の振附に次の三つがあると思ひます。

- (一) 歌の詞のまゝに表はす法
- (二) 歌から來る感じを表はす法
- (三) 歌にある人物の性格を表はす法

以下其の各々について簡単に説明いたします。

(一) を更に直接の表現と、間接の表現との二つに分けることが出來ます。

直接の表現と申しますのは、歌の意味をなすべく具體的に表はす方法で、最も簡單なものであります。例へば「花が咲く」といふ場合に、両手で花の形をこしらへ、花の咲いてゐる様子を表すといふたぐひであります。

次に間接の表現と申しますのは、歌の内容を間接に表はす方法で、前よりは少し六つかしく、高尚になります。例へば、前の「花が咲く」といふ場合に、片手を頭上にかざし、咲いてゐる花を遙かに眺める様をするといふ類であります。

序に右の兩者を比較して見ますと、

直接の表現は、表し方が頗る簡單で、しかも理解し易く、方法も容易であるから幼學年の兒童にはよく適しますが、しかし、動作があまり簡單過ぎて、表現の範圍が狭められます。例へば、「鳥が啼く」といふ場合にまさか、口を開いて、鳥の啼く真似をするわけにもいかず、自然と、行き詰つ

てくるのであります。

間接の表現は、前者に比べると動作が複雑で、内容も理解し難いから、幼稚の兒童には適しないが、動作が婉曲で、上品で、面白味が深うございます。例へば前の「鳥が啼く。」にしても、両手を側にあげて、これを上下に軽く振り鳥の飛ぶ様をなし、次に體を徐ろに斜前に傾けて、鳥の啼く音を靜かに聞くといふやうな方法であります。

(一)は、歌から來る感じを其のまゝ、卒直に表はす方法で、動作の難易巧拙といふよりは、むしろ感情表現に重きを置かなければなりません。従つて、幼學年の兒童には氣分が出しにくく、稍と六つかし過ぎます。例へば、廣瀬中佐の歌で、「旅順港外恨ぞ深し。」といふ場合に、何等動作することなしに、唯無言の中に殘念でたまらぬといふ氣持が充分溢れてゐなくてはなりません。

(二)は歌に出てくる人物の人がらを表はすもの

で、最も六つかしくなります。しかし練習を積むにつれて、だん／＼藝術味が現はれてまゐります。例へば「牛若丸」といふところで、牛若丸と辨慶との人がらを現はし、時の移り變るにつれて次第に二人の人がらの差異を個別的に明かに現はしていくのであります。それにはやる人が歌に出てくる人物に乗り移らなければうまく出来るものではありません。われ／＼が芝居を見て、よく泣かされますのはこの表現がうまくいつてゐるからであります。要するにこの表現も終にはこゝまで徹底しなければなりません。

以上甚だ簡單ではありましたが、振のつけ方について述べさせていたゞきました。これ等を實地に適用するについては餘程研究を要することゝ思はれます。どうか今後皆さんと共に研究して、本當によい子供のものにしたたいと、ひたすら祈つてあります。(終)

柶のぼり

口繪に示す柶のぼりは東京女子高等師範學校附属幼稚園指導、フレーベル館考案製作のものである。幼稚園時代の幼児が面白く遊んでゐる間に各種の筋肉を悉く働かすことが出来、幼児の程度に適應した使用が自然に行はれるのであるから決して危険がない。しかも一時に多數の幼児が狭い場所て比較的靜かに面白い運動が出来る最新の運動具である。室内にても室外にても自由に移動が出来、之を移動するには幼児の力で出来るものである。移動し得るが幼児の力で倒れない。多數の幼児が一方に登つたからとて倒れる心配は毛頭ない。至極幼児の好む面白い運動用具である。

マツチ箱の手工

山 形 寛

手工と云へば何時でも、新しい材料を用ひなければならぬ様に、常に新しい色紙を切つたり貼

つたり、新しいボール紙を使つたり、テープを使つたり、きびがらを使つたりすることばかりが行はれて居るけれども、決してさうばかりさせる必要はないので、學校や家庭で出來た色々な廢物、たとへば菓子箱の不用になつたのや、書物のサクにしてあつた箱の不用になつたのや、鏝詰の空罐や、その他種々な空箱や、糸巻（カタン糸などの）不用になつたものや、其他色々な廢物を利用して、それに少しく工夫を加へ、加工して玩具や模型などを作らせることは、かへつて、興味のあることであり、且つ工夫力を練る上にも有効な

ことなのである。此所に述べるまつち箱の手工などもその一例として述べたものである。

マツチの空箱はどこに家庭にても随分出來るものであるが、出來れば直ちに捨て、しまふか、せいで利用した所で、かまの下でたいてしまふ位のものである。然るに之を利用して子供の玩具にしたり手工の材料にすると、なか／＼面白いものが澤山出來るのである。子供等は立派な出來上つた玩具を買つてやることもよいけれども、自ら工夫して作つたものには、又特別の愛着を持つものである。面白味も多いものである。而してこゝにはまつちの箱に就て述べるのであるが、兩切巻煙草（バット、エヤシツブ、スター、リリー等の如

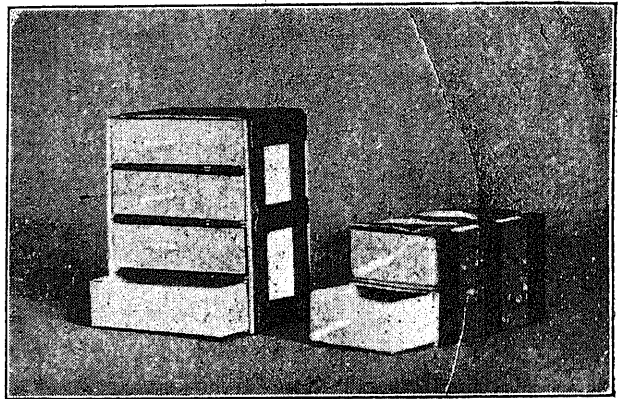
きもの)の空箱を用よれば一層面白く、一層多く
のものが出来るのである。

以下三四の實際例に就て述べ
あとは各自の工夫によつて作る
ことにしよう。

一、抽出箱

第一圖の右はマツチ箱二個で
作つた抽出箱である。これを作
るには、二つのマツチ箱を重ね
て、手工テープを兩端と中央と
の三ヶ所に巻きつけて、貼りし
ばる。

中の突出しを引き出して、一
端に小孔をあけ、こよりを二つ
に折り返して燃り合せたものを
その小孔に通し、内部でこれを左右に開いて、テ
ープ片で貼りつけて抽出の引手となるのである。



箱の表面には適宜の裝飾を手工テープでつけさ
せる。(圖には貼りしぱり方を示すために裝飾はつ
けてない)。

手工テープの無い場合には、
二つの箱を糊で貼りつけてから
表面に色紙を貼つて結合する様
にしてもよい。

抽出の引手は、紙燃を用ひな
いて、小さな帳綴金具等を用ひ
てもよい。

二、鏡臺

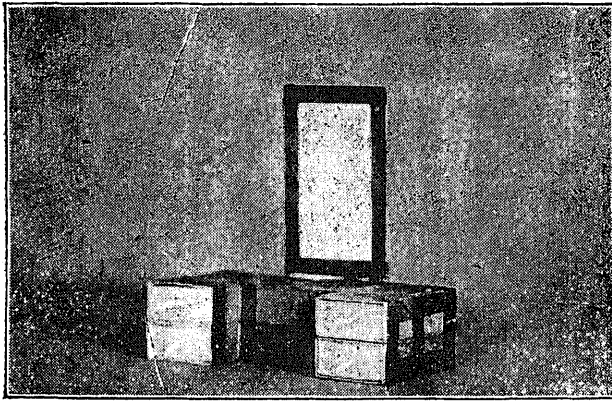
第二圖は、六個のマツチ箱と
ボール紙の薄片とで作つた鏡臺
である。之れを作るには、前の
抽出箱を作つた時と同じ方法に
マツチ箱二つづゝを手工テープで貼
りしぱつたもの三組を作る。

次に三組のマッチ箱を圖の様に、左右を縦に、中央を横に組合せて、手工テープで二ヶ所ばかり貼りしぼる。

次にボール紙を幅はマッチ箱の長さに等しく、長さは、マッチ箱の二倍強に切り、これを、中央の箱の後に貼りつけ、なほ手工テープで貼りしぼる。このボール紙は鏡になるのである。褐色のテープで鏡の縁をはり箱の表面には適宜の裝飾をなす。(圖には貼りしぼり方を現すため裝飾はない。)

各抽出に引手をつける。引手のつけ方は、前の抽出箱と同様にするのである。

三、箆筒



第一圖の左は四個のマッチ箱と、ボール紙片とて作った箆筒である。これを作るには、先づ各

のマッチの外側の側面だけを缺て切り去るのである。この工作は切り過ぎたり、切り残したりしない様にしなければならぬ。

前の様に切ると、箱の三方が切り開かれたことになるから、そのままでは箱の形を保たないことになるのである。そこで、先づ箱の切り開いた部分の、相隣する上下の二枚づゝを、手工テープで貼り合せるのである。

そして四つの箱を、連続するのである。然しこれだけでは、まだ箱の形を保つことにはならないから、その各の間に抽出をはめ込

んで置いて、兩側面から、ボール紙を當て、(この

ボール紙は豫め箱を四つ重ねた時の側面の大きさと

同じ大きさに切つて置かなければ

ならないのである。これを作る

には、箱を四つ正しく重ねて、

それをボール紙の上に當て、鉛

筆でその大きさを寫してから、そ

の線の所から切り離せばよいの

である。)手工テープでしばり合

せるのである。さうすれば大體

は出來上るのである。

各抽出には、前二工作の場合

と同じ方法によつて引手をつけ

る。この引手は、つまり、箱の

長い方の側の中央につけること

になるのである。

表面に任意の裝飾をして仕上げるのである。

四、机

第三圖は五個のマッチ箱で作つた机である。こ

れを作るには、先づ三個のマツ

チを平たくならべて、兩端を手

工テープで巻いて貼りしぼるの

である。

第 次に左右の兩端に、圖の如く

各一個づゝのマッチ箱を當て、

三 手工テープで貼りしぼるのであ

る。この部分のはりしぼりには

圖 三個平面に連續して置いた箱

の、表面にかけてテープで貼り

しぼつてしまふと、引出を引出

すことが出來なくなつてしまふ

から全づ左右のものゝ引出を抜

き去つてしまつて置いて、テープを底の板だけに

かけて貼りしぼるのである。

三個の抽出に引手をつける。

表面に裝飾をして仕上げるのである。

マッチ箱には多少の歪のあることはまぬがれないのであるがそれを用ふる前には豫め歪をなほしてかゝらないとうまく行かないものである。机の如きものは特にその歪がじやまになるものであるからあまりひどい歪のあるものは使はぬがよい。

五、汽車

機關車を作るには、二個のマッチ箱をL字形に組合せて、手工テープで貼り縛る。

車輪は、ボール紙を十錢白銅貨大位の圓形に切つたもの四個を作り、中央に錐の先で小さな孔をあけて置き、針金又は籤竹を通

して心棒とするのである。

針金の心棒は、車が抜けないために端を曲げて

置けばよく。籤竹の心棒の場合には、端に幅の狭いテープを巻きつけて抜けない様にすればよい。

第二組の車輪を作り、その心棒を、箱の裏面にテープで貼りつける。

貨車を作るには、前に作つたのと同様の方法によつて二組の車輪を作り、その心棒を箱の裏にテープで貼りつければよいのである。

貨車はマッチ箱の中の引出の

箱だけを用ひたのでもよい。

貨車はなるべく多數作る方が面白い。

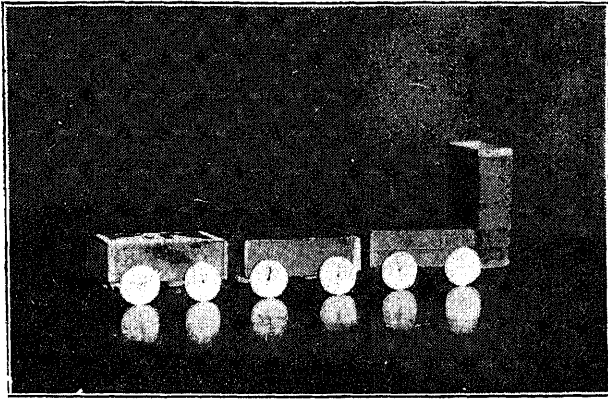


圖 四 第

六、自動車

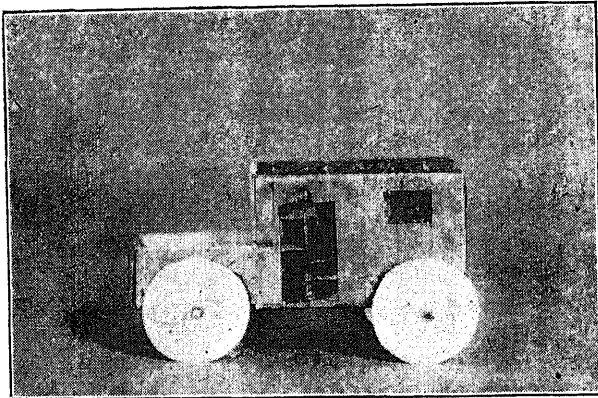
第五圖は二個のマッチ箱で作つた自動車であ

る。これを作るには、先づ二個のマッチ箱を重ねて、テープで貼り縛り、下方の箱の抽出を約五分の三位引き出して、左右兩側をテープで貼つて動かぬ様にする。

全體を黒又は紫色のような暗い色のテープで貼りうる。

入口、窓等を明るい色のテープで貼り表はす。

ボール紙で一錢銅貨大又はそれよりやや大きな圓形四個を作り、中央に小孔あけ、心棒を通して抜けない様にしてから、心棒を車體の下方に圖の如く當て、テープで貼りつければよいので



第五圖

ある。

以上挙げたものはほんの類例に過ぎないのであるから、色々工夫して試作せられんことを、又幼兒には試作せしめられんことを望む次第である。

(二、九、二五)





童話

水谷 年 惠

五〇

綺麗な着物

だん／＼寒くなつて來たので、兎がお爺さんに赤いあべゝを買つて貰ひました。それを着て、お山へ行くと、裸てゐた狐と狸が、大層うらやましがりました。

狐「兎さん、綺麗な着物だね、誰に買つて貰つたの。」

兎「お爺さんだよ」

狸「ちよつとの間貸してお呉れよ。」

兎「いやだよ、お爺さんに買つて貰つたらいい」

「ぢやあないか」

其處で、狐と狸は、二人でお爺さんの所へ行つて頼んで見ることにしました。

狐と狸「お爺さん、私達にも赤いあべゝを買つて下さい。」

お爺さん「だめ／＼、お前達は、畑を荒したり臺所の物を盗んだりして、いたづらばかりするんだもの、赤いあべゝなど買つてやられないよ。」

狐と狸は仕方がないので、めい／＼工夫して、綺麗な着物を着ることにしました。

狐は野菊の花を澤山摘んで、一花一花を、體中の毛に縛り附けました。薄紫色の野菊の花は、狐のみにくい體中を、大層美しく飾りました。狸は紅葉の葉をどつさり採つて、一葉一葉、糊で體中に貼着けました。赤々と、燃えるやうな色で包ま

れて、狸も大層美しく見えました。

二人お揃ひで、お爺さんの所へ行つて、見せびらかしました。野菊の花の着物と、紅葉の葉の着物が、あまり美しかつたので、お爺さんも兎もびつくりしてしまいました。

狐と狸の美しい着物が、お山中の評判になりました。羊や、鹿や、猿や、色々の獣達が、大勢で見物に出掛けました。見ると、狐の野菊はもう花が凋んでしまつて、少しも美しくありません。狸の紅葉も、葉が枯れ枯れになつて、きたならしくなつてをりました。

猫が鉛筆に化けた噺

猫のタマが、花子さんの鉛筆にじやれて遊んでゐました。鉛筆はころころがつて、何處かへ行つてしまひました。花子さんは鉛筆を一本しか持つて居りませんでした。花子さんは、もう繪を書く事も、字を書く事も出来なくなりました。

猫のタマが、鉛筆に化けました。花子さんは、

「あつ、鉛筆が出て来たわ。」

と言つて喜びました。花子さんは、お帳面に繪を書いたり、字を書いたりしました。鉛筆の心が短くなつたので、削らうと思つて、花子さんが小刀で鉛筆の先を、一寸削りかけると、

「ニヤン」

と言つて、猫のタマが、花子さんの手から飛び出しました。

天人の笛

ある所にお爺さんがありました。ある日お爺さんが山へ柴刈りに行きました。すると山の中の椎の木の下で、子供の雷が晝寢をして居りました。

お爺さんは子供の雷が眼を覺さないやうに、そつと椎の木へ登りました。そして、椎の木の枝を振ると、椎の實が、ばら／＼／＼と降りかゝつて、子供の顔や體を打ちました。子供の雷はびつ

くりして、逃げ出しました。

お爺さんが木から下りて来て見ると、美事な笛が落ちてゐました。

「どんな音がするか、一つ吹いて見よう。」

と言つて、お爺さんが一吹き吹いて見ました。すると、今までじつとしてゐた大空の雲が、ふわふわと動き出して、お爺さんの前まで、下りて来ました。其の雲の中には、立派な腰掛が一つありました。

お爺さんが、其の腰掛に腰を掛けると、雲はすうつと、天へ舞上つて、お爺さんを空の國へ連れて行きました。空の國では、今大勢の天人が集まつて、不思議な、よい音楽を始めて居りました。どの天人も皆笛や太鼓や、色々の鳴物を持つて樂しさに鳴らして居りました。中にたつた一人、端の方に、何も持たずに、泣いてゐる天人がありました。お爺さんは、可哀想に思つて、其の天人

の側へ行つて、

「此の笛をお吹きなさい。」

と申しました。天人は其の笛を見ると、嬉しうにして、

「あゝ、これは私の笛です。あなたはどなたですか。」

とたづねました。お爺さんは、椎の木の下で其の笛を拾つた事や、笛を吹いたら雲が下りて来た事や、其の雲に乗つて来た事などを、天人に話しました。

天人は大層喜んで、

「お爺さんのお蔭で、私は空の國に何時までも住む事が出来ます。御恩は何時までも忘れません」と言つて、お爺さんを雲に乗せて、お爺さんのうちの前まで、送つて来て呉れました。

別れる時、天人はお爺さんにむかつて、

「お禮の印に、命の水を差上げませう。」

と言つて、一つの壺を呉れました。壺の中の水を
飲むと、お爺さんは忽ち若者になつてしまひまし
た。

其の時から、一つも年をとらずに、今でも其の
若者は生きてゐると言ふ事です。

A B C

ギーギー、グーグー、モウモウ、ガア

ーガアー

或朝、山羊と子豚がお家をこさへに出かけます
と途中で大きな牛に會ひました。

「お家を、立派なお家をこさへに行きますの」
と聲を揃へていひました。

「わたしも一緒に行きませう」

「オヤ、お手傳下さるの」

「大きな體でいたしませう」

「うれしいなあー さあ〜早く歩きませう」

ギーギー、グーグー、モウモウ三足揃つて皆で
お道をいそぎました、所が途中であすましやさん
の鷺鳥に會ひました。

「お家をこさへに行きますの」

ギーギー、グーグー、モウモウ、聲を揃へてい
ひました。

「あたいもお伴いたしませう」

と首を伸ばして申しました。

「なーがい首でいたしませう」

「これはうれしい！ 皆でいそぎませう」

ギーギー、グーグー、モウモウ、ガアーガアー
皆足取揃へて歩きました、ちつとも休まずわき目
もふらず一心不亂に歩きまゐりました、すると白い山羊
がいひました。

「こゝらでお家をこさへませう立派なお家をこさ
へませう。」

グーグー、小豚はかせぎました。

モウモウ、お牛は手傳ひました。

ガアーガアー、鶯鳥も一緒に働きました。

皆で仲よくたーかいお家をつくりました。

ギーギー、グーグー、モウモウ、ガアーガアー

お互にお禮をいひました。

森のお家

昔貧乏な樵夫がありまして三人の娘を持つてゐました。毎日早くから森へ樹を切りに出かけました。たがなかく骨が折れました。

或日妻に、

「今日は多分一日中歸つて來られないかも知れない。ずつと森の奥の方へ行きませすから晝頃になつたらお辨當を一番上の娘に持たして呉れ」

といひました。

妻は

「暗い森の中で路に迷ふかも知れませんどうもやうり度くありません」

といひますと、

「そんな心配はいらない。わしはちやんと路が分る様に草の種子をこぼして行くから」

といつて樵夫は森へ出かけ路々種子をこぼして行きました。

晝頃いはれた通りにも辨當をさげて森へ行きましたが樵夫のこぼした種子は皆鳥が拾つてしまつたので路がどうしても分りません。迷つてゐます中に日が暮れて來ました。

「家へ歸るにも歸れないし、こんな恐ろしい森の中で一晚所か一時間も居られあしない」

と困つて居りますとはるか向ふにチラリチラリと明りが木蔭から見えます。

「あゝ、あそこにお家があるにちがひない泊めて

頂させう」

と元氣を振り起して歩き出しました。

破れ戸をこわく／＼そつと叩きますと中から

「お入りなさい」

と囁れた聲がいたしました。

中に入りますと爐に火が盛に燃えて側に一人のお婆さんが坐つて居ります。お婆さんの側に牝鶏に牡鶏に斑の牝牛がねてゐます。何だか薄氣味悪くなりましたが娘はいひました。

「お父上様へお辨當を持つて來たのですが路に迷つてしまいました。何卒今夜一晩お泊め下さい」するとお婆さんは側に休んでゐる牝鶏や牡鶏や牝牛に問ひ合はせました。

「泊めませうか」

忽ちコケツコツコー、クツクツクー、モーモーと皆がそれ／＼なき出しましたのでお婆さんはその意味が分り、

「ちや、娘さん、泊めてあげませう。けれど働か

なくちやなりませんよ。さあお臺所へ行つて夕

飯の支度をなさい」

といひました。

娘はシブ／＼臺所へ行つて夕飯の支度をしてお婆さんに食べさせ自分もお腹一杯頂きましたが側に居る鶏や牛にやる事を忘れしました、疲れた上にお腹一杯頂きましたので眠くて堪りませんがお婆さんは床も自分で作るのですといひましたので眼をコスリ／＼自分の床をこさへて休みましたがお婆さんの床をとるのを忘れてしまひました。お婆さんがお二階に上つて來ますと自分の床はとつてありませんとして娘はよい氣になつて眠つてゐます。お婆さんは腹を立て土間の戸を開けますと忽ちに娘も床もみんな暗い深い穴の中へ落ちてしまひました。

その晩樵夫は森から腹をすかして疲れて歸つて來ました。

「一番大きい子は何處にゐる？一體どうして、いひつけて置いたのにお辨當を持つて來なかつたのかい」と
どなりました。

妻はやつぱり路に迷つたのだと知り大變に悲しみましたが樵夫は別に氣にもとめず、
「なに、あした歸つて來るだらふ。あしたは二番の子に持たして呉れ」

といひましたが妻はどうしても「はい」といひませ
ん。樵夫は

「ぢや、あしたは草の種子よりも大きい麥粒を落して行かう。そのあとさへ辿つて來ればちつとも心配はいらない」といひました。

次の日樵夫は森に出かけ麥粒を落しながら行きましたが梟が皆食べてしまひました。二番の娘がお晝頃お辨當を下げて出かけましたがやはり路が分りません。とうとう路に迷つて日が暮れてしま

ひました。するとやはり向ふに火が見えたのでいそいで行つて出て來たお婆さんに「どうか泊めて下さい」と願ひました。お婆さんは前と同じ様に鶏や牛をたずねますと皆元氣よくあきましたのでとめてやりました。二番の娘もお婆さんにいはれて夕飯をこさへしましたが鶏と牛に食物をやる事に氣がつかまませんでした。

寝る時にも一番の娘と同じ様にお婆さんのお床はとりませんでしたので夜中に土間の中が開いて一番の娘と同じ運命に落ちてしまひました。

娘が歸らないので樵夫は

「あれもきつと森に迷ひ込んだんだらふ。これで丸二日間何もたべずに働いてゐる。今度は末の娘に是非持たして呉れ」

といひました。が妻はどうしてもいふ事をきいせん。

「ぢや今度は豆粒を落して行くから。豆はずつと

大きいから今度は大丈夫だ」

と次の朝又樵夫は出かけて行きました。が今度も空の鳥が豆を啄んでしまひましたので三番の娘も同じく迷つてあちらこちらと歩かぬばなりませんでした。その中とうとう日が暮れ二人の姉と同じ様に火をみつけてお婆さんをたづねました。中に入りますと鶏や牛がゐるのでびつくりいたしました。だが親切に撫てゝやつたりお話をしたり、お婆さんへは御馳走をいしくしてさしあげ又側にゐる例の鶏や牛にも夕食をやり水までも飲ませすつかり仕事ですんでからやつと空腹を満たしました。又休み時にも先づお婆さんのために柔かくお床をこさへてあげました。次の朝眩いばかりの陽に驚いて眼を醒ますとこはいかに、皆あたりが變つてゐます。藁のお床は象牙の寢臺に、木の椅子は黄金のとなつて光つてゐます。そして自分は立派なお室の中にあつた。

「これはどうしたんでせう。わたしきつと夢みてゐるんだわ」といつて自分の手をつめつてみましたがやはり現でございました。

「さあ、これから鶏も牛もおこしてお婆さんのお馳走をこさへませう」

といそいでかけ下りますと下はすてきなお室になつてゐます真中に大きな圓いテーブルが据えられ見た事もない様な美しい王女様が坐つてゐられます。爐には眞赤な火が燃えてゐますが昨夜の鶏も牛もゐません。何處へ行つたんでせうとあたりを見廻しますと三人の侍女が竝んで御馳走を運んで來ます。娘はます／＼びつくり仰天してどうしてよいか分らなくなりました。すると王女様はすゞしいやさしいお聲であつしやいました。

「こゝへゐらつしやい、わけを話しませう。私のお父様は王様でございますが悪い魔女に呪はれ

て汚い見るかげもないお婆さんになり立派なご

殿は小屋と化し私の三人の侍女はそれ／＼牝鶏や牡鶏や牛になつてしまつたのです。誰もこのあはれな私共を元にかへす事は出来ません只親切なやさしい女の子だけが出来るのです。あなたは何んとうに御親切にして下さいました。御蔭様で昨夕すつかり私共は元にかへる事が出来ました。これ位嬉しい事はございませんこれから私は思返しにあなたを一生幸福にしてあげませう」

娘は王女様の御やさしい御言葉に只感謝する外ございませんでしたが思ひ切つて、

「でも私はどうしても家に歸らねばなりません。昨夜歸られなかつたので家ではお母様がどんなに心配してゐらしやるかも知れません。家へ一刻も早く歸つて森の中で迷つた二人の娘をお父様やお母様と一緒に探さねばなりません」

といつてお暇乞いたしませうとすると、

「マ、マアおまちなさい私も一緒に行きませう、が先づなくなつた二人を探し出させう。さあ私と一緒にこちらへおらしやい」

といつて王女は穴藏の戸を開けますと二人は喜んで出て來ました。そして可愛い妹をみてどんなに喜んだ事でございませう。

やがて三人の姉妹打ち揃ひ王女様をご案内してめでたくお家に歸る事が出来ました。

——外國童話集より——



紅葉

文部省唱歌

♩ = 92

アキノユフヒニ テルヤマモミヂ
 たにのながれに りりうくもみぢ
 コイモウスイモ カズアルナカニ
 なみにゆられて はなれてよつて
 マツライロドル カヘテヤータハ
 あかやきいろの いろさまざまに
 ヤマノフモトノ スーモヤウ
 みづのうにも おるにしき

一、秋の夕日に 照る山もみぢ

濃いも薄いも かずある中に

松をいろどる 楓やつたは

山のふもとの 裾もやう。

二、谷の流れに 散り浮くもみぢ

波にゆられて 離れてよつて

赤や黄色の いろさまざまに

水の上にも 織るにしき。

紅葉

土川 五郎

六〇

この歌の振りは本來は三四年程度です。併し歩法を取りかへて簡易にしました。

一秋の夕……全生手を取りて左上を見つゝ左へ三步最後に連手のまゝ左上にあげ兩踵をあげて左上を見る。

日に……右膝をつき蹲踞し兩手を右下に流し左肩を下げて左下を見る。

照る山紅葉……兩手を左側下方に送り手先をまわしつゝ左下方より上へ上より右下方へ次第にまわしつゝ直立す、顔は手に従つて次第に右下に向く。

こいも……左手をあげ左上を見て左足にて跳ぶ。

うす……右手をあげ右上を見て右足にて跳ぶ。

い……左上上、左足にてとぶ。

も……右上上、右足にてとぶ。

數ある中に……右食指を出し上體をやゝ右に傾け右手を上下しつゝ右に一回轉す。

松をいろどる……偶生蹲踞し右手を以て奇生の出したる右手を取る、奇生は偶生の後ろより八歩偶生のまわりを一回轉して元の位置に復す。

かへてやつたは……奇生蹲踞し偶生は奇生に右手を渡し偶生の前より一まわりして元の位置に歸る。

山の……全生連手し左足一步前に顔と手を上に

あぐ。

ふも……左足一步後ろへ引き蹲居す。

との……両手を左へ右下を見る、次に両手右へ

左下を見る。

裾模様……両手を頭上に上體を後屈して上を見

る(緩やかに舉手丸くして上を見る)。

二、たにの……直立す。

なが……左足を右足の前に両手を左下に流し顔

は左下を向く。

れ……右足一步右へ両手を右上方にあぐ。

に……左足を右足の前に両手を左下方に流し顔

は左下を見る。

散り浮く紅葉……両手を左右に開き手先きを回

轉しつゝ右にまわり蹲居す。

波にゆられて……両手を左右に開き掌は下に向

け、フワリ〜と四度に漸次起きて、奇偶生

相對す。

離れて……両生右手を取り左手は肩の高さに左

方へ流して左足一步左へ右足を左足の後ろに

つく。

よつて……右足一步右へ左足をつく。

あ……奇生蹲居して拍手一回、偶生は奇生の前

へ一步両手を胸前にとる、掌は下に向く。

かや……奇生拍手一回、偶生は尙一步、両手を

左右に開く。

きいろの……奇生は初めより八回拍手、偶生は

前の如くして奇生のまわりを八歩両手を胸に

次に開き交互に行ひつゝ元の位置に歸る。

いろさまざまに……偶生蹲居拍手八回……奇生

は前に偶生のなしたる如くす。

水の上にも……右足一步右へ両手を右へ送り次

に次第に微動せしめつゝ左方へ送り顔もこれ

に從ふ。

織る錦……左足を引きて蹲居し左手を腰に右手

を右側方よりかぶり、左下を見る。

南 滿 行

倉 橋 惣 三

一、秋や如何

に、またしても私を捕えた想像であつた。

秋や如何。私の滿州旅行は二回とも夏であつたが、彼の地の最好季は秋だといふことである。此の前の時には、季既に九月に入つて、ハルビンの夜を夏服の襟を立て、歩いた思ひ出もあるが、今年は七月中旬から下旬にかけて、滿州の夏を、その最高溫度に於て味つた譯だ。勿論、内地の濕めつばい蒸熱と違つて、却つて心持ちがよい。ポブラの日蔭に吹く風は肌に爽かに、ヤマトホテルの屋上庭園の夕は、氷茶のコップを呑み忘れる程の涼味に充ちてゐる。併し、なんといつても猛夏だ、日光が餘りに明る過ぎて、ものゝ色が眩しい。秋ならば更に一段と樂しかろうとは、路上に、車中

此の秋晴に、あの奉天北郊の廣野を訪ふたらどうであらう。大連から旅順への滑かな新道をドライブしたらどうであらう。長春公園の池の畔をぶら／＼と歩いて見たらどうであらう。更に、公記飯店の中庭の、葉の粗らな兆竹桃の傍に、支那酒の酔で星を仰いだらどうであらう。まだ火を入れないペチカの側をなつかしみながら、松花江のうまい川魚を満喫したらどうであらう。……こんなことを次から次へ思ひつゞけてゐたら切りがない。私の滿州へ渡つたのは、遊びに行つたのではない。

二、滿州の幼稚園

私の渡滿第一の任務は、滿鐵主催の保育講習會に於て、全滿州の保姆諸君のために講義をすることであつた。私は、此の依頼を如何に喜んで受け取つたことか。今年の夏季休暇こそは、少し疲れた體を海邊に養い度いと思つてゐた豫ての計畫の半分を割いて、少しも惜しいと思はなかつたのである。

私は十數年前、關東廳の招きを受けて、旅順で保育講習を開いたことがある。それが、滿州の幼稚園教育に交渉をもつた初めてである。その講習後、滿鐵の當時の教育課長岡本氏に伴はれて、沿線各地の幼兒運動場（其頃はまだ幼稚園といはなかつた）を視察して巡つた。その時、どういふ所感をもつたか、如何なる忠言を提供したか今詳しく覚えてゐない。しかし、今尙ほ明瞭に記憶してゐることは、幼兒運動場の名稱を幼稚園と改められたいと切に警告したことである。もつと適切にいへば、幼稚園の精神に基いて幼兒の問題を考へら

れたといふことであつた。勿論、當時滿鐵に於て、幼稚園といはず特に幼兒運動場といつた理由には、その當時として相當の理由のあつたことである。それを極く要約していへば、幼稚園といふ名に於て従來行はれることの少なくなかつた知的早教育、訓練的形式教育の弊を憂へてゐたのであつた。その心を更に解釋していへば、滿鐵教育當事者諸君が、まのあたり幼兒達に與へようと望んだ幸福なる生活、健康なる發達と、全然かけ離れたことが幼稚園の名に於て行はれることを恐れたのであつた。私は當時、之れ等の心持そのものには充分の理解をもつた。旅順の講習に於ても、そうした誤つた幼稚園教育法を、手厳しく責めもし、除去しようとしたのであつた。其頃幼稚園に對する私の力の向けどころが、舊い誤謬の打破排撃に専らであつた時でもあり、その意味では、幼稚園の名を忌む滿鐵教育當事者諸君の心持ちに寧ろ

同一、或はそれ以上の養成であつたのである。しかし、それは、幼稚園の名の誤つた使はれ方に過ぎない。その誤りに如何に弊があろうとも、正しい幼稚園の名に存する深い意味は、どうしても、他の言葉を以て更へることが出来ないことも、私の確信するところであつたのである。「そんなに幼稚園の名の誤用を憂ふるならば、こゝで、幼稚園の名を正しきに歸して下さらんか、私はそんなことまで言つたことを覚えてゐる。

當時の所謂幼兒運動場は、勿論、在滿州の同胞幼兒達のために、多くのいゝものを與へてゐた。殊に、運動場の名が示すように、運動による健康増進のために、極めて効果ある貢献をしてゐたに相違ない。しかし、私はそこに二様の實際問題を見たのである。一つは、幼兒のあるところ必ず當然の教育が存せざるを得ない筈であるのに、それが、運動場の名に災されて、却つて非教育的放任

が看過せられないとも限らないことであつた。(當然行はるべき教育が行はれないのは非教育である)。それからもう一つの場合は、保姆として、當然幼兒のために心づく教育的諸注意が、運動場の名のために、無意味に遠慮されなければならぬ様な趣き、殊に、此の場合、保姆その人の心に起る不必要な困惑を屢々見たことであつた。そこで私は、幼稚園の名の採り用ゐらるゝことを、強く主張したのであつた。

其の後、滿洲の幼稚園と私との關係は、相當密接に行はれた。殊に、多くの保姆諸君との個人的連絡は、私をして、滿洲の幼稚園といふことを、一個の問題として念頭に忘れしめなかつた。また其の發展の消息も絶えず私の許に傳へられた。幼兒運動場の名が幼稚園と改められたことも、勿論非常の喜びを以て、私の疾く傳を聞いたことであつた。

そんな譯で、今度、朝鮮經由、初めて安東に入つた第一に、雨を冒して、其の幼稚園を訪ねたのも、思ひ出多い、舊いなつかしみに驅られてのとであつた。

三、視學のお話

私の希望としては、此の機會に、出來るだけ多くの幼稚園の實際を見たいことであつた。しかし社會課の方の用事に忙しかつたのと、旅中の後半は休暇になつたのと、他の視察事項とのためにそう澤山を見ることは出來なかつた。しかし、幸なことに、幼稚園の方を管掌せらるゝ生田視學と奉天講習中同じ旅館にゐた爲に、いろ／＼のお話を聞くことが出來たのである。そのお話の中で、私の最も愉快に聽いたことは、滿洲現在の保姆諸君の質の揃つてゐることである。遠慮なくいへば、昔の幼兒運動場時代には、立派な保姆諸君も多くあつたが、中には、幼兒保育者として、頗る素養

の足りない様の人も、少くないと聞いてゐた。それが今日、百名に近い保姆諸君は、皆、幼兒保育の教養を具へてゐる人ばかりだといふことである。何より喜ばしいこと、言はなければならぬ。之れは滿洲の教育者一般に亘つて同一の事實であるが、教育者その人の質の充實といふことは、現在の滿洲教育の確に誇りとすることであらう。

たゞに現在々職者によりき保姆を得てゐるのみでなく、幼稚園従事志望者に人を缺かないといふ話も、最も私を喜ばせたことであつた。今日の滿洲を知るものにとつては、滿洲は決して、行くに遠く、住むに難い處ではない。しかし、兎に角内地を離れた租借地といふので、好んで赴任する保姆を得難からうとは誰れにでもある危惧である。私など、從來屢々、滿洲からの保姆招聘の依頼を受けて、その人を得るに苦しんだ經驗も、數回にして止まらないのである。そこで、滿洲在住

の良家の子女で、高等女學校卒業後、此の方面の特殊教養を得て、滿洲幼稚園のために就任する資格者が多くならなければならぬ。そのためには、出來得るだけの便宜も計り度いといふことは、豫て、當事者諸君にもよく話してゐた意見であつたのである。ところが、今日の狀況は、何の案ずることもなく、そうした志望者が澤山にあつて、時々過剰する位だといふお話なのである。誠に喜ばしいことゝ言はなければならぬ。

尙ほ、それについて喜ばしいお話は、保姆諸君の熱心なことである。殊に、沿線を各研究區に區分して、相互討考に勵まれてゐるといふお話は、不斷の進歩を思はせるものである。それにつけても、學務課としての指導も亦、頗る力を盡されてゐることを思はずにゐられない。生田視學は嘗て海外の教育を視察せられた時、アメリカの幼稚園教育の進歩、また、幼稚園と小學校低學年との連

絡に關する傾向などに就ても充分研究して來られたのである。即ち、現代の幼稚園教育に就て精しい理解をもつ人である。歸來、滿洲の幼稚園のために、多大の盡力をしてゐられる。斯ういふ、幼稚園のために幸な視學を持つことは、内地に於ても遺憾ながら多くない。滿洲幼稚園のために至慶とせざるを得ないのである。(つゞく)

新らしい遊戯集

——望月クニ、田中銀之助氏の「創

作唱歌と遊戯」——

倉橋惣三

幼稚園の遊戯は往々にして種切れになる。いつも同じものが繰りかへされて、幼兒の新鮮な興味を促し難くなつたりする。素より、よき遊戯は幾度繰りかへされても楽しいものであり、徒らに新らしいものゝばかり追ふてゐることは、必ずしもいいことでないが、よきものゝ新提供は誠に

望ましいことである。

今度神戸の望月さんの作られた遊戯集は我國幼稚園の此要求に對して、極めて喜び迎ふべきものである。從來、關西の幼稚園は、三市聯合保育の年々の總會に、新しい遊戯を提出することから遊戯創作の風が絶えず行はれてゐた。その中で、萬事研究的な望月氏に此著あるは、疾くに期待されてゐたことである。

此の遊戯集の最も價値ある特色は、眞に幼稚園から生れた創作であることである。外國からの輸入でもなく、又、高過ぎる藝術からの天降りでもない。本書の序にもある通り、「小學校初年級及幼稚園幼兒の生活を標準として作られたものである。近年往々にして幼稚園に持ち込まれる、職業舞踏家の作とは、全然違つたものである。そこに充分安心の出来る「幼兒らしい」がある。

作曲も亦、幼兒の年齢の音域に適當な範圍で作られてある。此のことは、素より當然そうなければならぬことであるが、作曲家の藝術味を充たし技巧上の満足を誇るためには、識らず／＼無視さ

れることがないと限らない。そのために、隨分、幼兒の咽喉に無理をさせることも少くないのである。之れは大に注意されなければならぬのであるが、しかも、幼兒音域に就いて、實驗的に研究した人はまだ尠ない。そこで、識らず／＼誤りも起るのである。しかるに、望月氏は、此方面に立派な研究をしてゐられる。先年檜崎博士指導の下に發表された、「幼兒音域の實驗的研究」といふ論文は、世界的にも珍らしい心理學的文献として、我等の最も敬意を拂つたところであつた。その科學的研究が、今此の實際的に適用せられてゐることは、誠に心強いことであり、此著者のみがつ、此の遊戯集の誇りてなければならぬ。

私は、幼稚園保育の各資料が、平生實際に幼稚園に於て、幼兒の生活に實際的に曉通してゐる保姆諸君の手で創作工夫せられることを、謹て切望してゐるのである。此遊戯集は、此意味からも最も快心の擧行である。廣く全國の幼稚園に於て採り用ゐられんことを希望して已まない。(神戸市山手通六丁目保育研究會發行、定價金貳圓五拾錢)

生徒募集

本科 一ケ年卒業

托兒科 一ケ年卒業

研究科 一ケ年卒業

昭和三年四月十日始業

右生徒募集す

詳細は左記へ問ひ合せらるべし

東京市外中高井戸町字南一三三

玉成保姆養成所

玉成保姆養成所は、大正五年ソフアヤ、アラベラ、アルウキン嬢の獨力で創立したもので、嬢の献身的努力により、既に十一回の卒業生を出し、其卒業生は全國各方面に保育並に保育事業に活動して、よい成績を擧げて居ります。今や嬢の熱誠も漸く社會に認められ、今年より市外中高井戸に

校舎を新築し、來十月十五日に盛大な落成式を舉行することになりました。本年からは從來の本科に托兒科及研究科を並設し、各科共生徒を募集します。入學希望者は左記へ問ひ合せらるべし。

市外中高井戸町字南一三三

玉成保姆養成所

元當會幹事として種々會のため御盡力下さいました井村くに子氏は九月十五日死去なさいました謹んでこゝに弔意を表します。

定規文注

告 稟

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
 - 一、寄稿は一行二十六字詰に記して下さい。但改行は一字下げること。また句讀點は一字あけること。
 - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新聞書、交換雜誌、入會手續、更に
 - 一、本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會**
- 一、本誌購讀御希望の方は日本幼稚園協會に御加入下さい。居所、氏名を明記し會費前金にて東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會に御申込下さい。
 - 一、日本幼稚園協會會員外にて本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
 - 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきて御申越を願ひます。
 - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

告 廣

特等面一頁 金參拾圓
 二等面一頁 金貳拾圓
 一等面一頁 金貳拾五圓
 一頁以下御斷
 神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
 振替口座東京一七二六六番

不 許 複 製
 禁 轉 載

編輯兼 發行者 堀 七 藏
 東京市牛込區西五軒町五二番地
 印刷者 小長谷 勝之助
 東京市牛込區西五軒町五二番地
 印刷所 行政學會印刷所

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料貳錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

昭和二年十月十日印刷
 昭和二年十月十五日發行
 幼兒の教育 第二十七卷第九號

大好评

濱田廣介先生著 初山滋先生畫

菊判 各定價壹圓八十錢
美裝 送料十錢

ひろすけ 童話讀本

第三集發賣忽ち五版

第一集 第二集 八版

鳥崎藤村先生曰く——(前略)どんな好いお話がこの本の中から出てくるでせう。眺めても眺めても飽きない青い蟬のやうな子供の世界のことが、もつとお知りになりたくば、濱田小父さんのお話へお出でください。

中村星湖先生曰く——今の童話作家のうちで、誰のが一番すぐれてゐるかと問はれたなら、躊躇なく答へる、それは濱田廣介君の童話だと。彼の童話を讀めば解る。(中略)あの寫實的で同時に象徴的な廣介童話のうまさと美しさ、廣介君の童話のやうなのは、普通の小説なみに、といふよりは、普通の小説以上に、世間が取扱ふことを希望する。

東京赤坂牛込町 株式會社 文教書院 振替四三三番 東座三五番 京番

少年常識叢書



東京高等師範學校 府立師範學校 各中學校 女學校 院 教官分擔責任執筆

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 |

地震の知識 植物の生長 蒸気力の偉大 火の空気の生活 動物の生活 星の計算 興味の算術 發明家の発見 瓦の魔力 人の行方 昆虫の行方 南半球の巡行 無線電信、無線電話 空中動物園 海空旅行

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 |
| 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 | 東京小松崎三校著 |

算術の知識 格闘の知識 國語の知識 鐵道の知識 世界人の生活 偉人半球的巡行 北極の探險 飛行機の發明 理化の學問 寫生樂典 地帯の樂典 現代常識辭典 我々の身體 鎌倉の算術 心の算術

全三十三卷 定價各金壹圓 送料六錢 四六判裝插畫數十頁八百八十頁後

文部省 認定

東京高師茗溪會推獎 各都市教育會賞讚

東京市牛込區西五軒町三十四番地 發行所 文洋社 電話牛込四三六〇番 抵替東京一五〇九四番

観察繪本キンダーブック

第一卷
お米の巻

御 賛 助

(順ハロイ)

堀川 及野田 河野 土橋 倉五 藤尾 淺邊 岸川 森川
 七 七 七 七 七 七 七 七 七 七
 藏先生 實先生 九先生 三先生 策先生 記先生 雄先生 雄先生 雄先生
 其の他多數

第一卷の目次の内容

- 1、稻の標本
- 2、米食人種と動物
- 3、田植
- 4、除草と灌漑
- 5、害蟲驅除(蟲合戦)
- 6、豊稔
- 7、收穫
- 8、稲摺
- 9、

- 10、豊年祭
- 11、米の移出
- 12、精白
- 13、七五三の祝
- 14、野營の炊爨
- 15、米の製品
- 16、1. 兎の餅搗(キリヌキ) 2. 米搗(キリヌキ)

以下

乗物の巻、水の巻、お行儀の巻、牛馬の巻、電氣の巻、遊戲の巻、
 花の巻、お伽の巻、羊の巻、鳥の巻、お蠶の巻、等々。を續刊の豫定

△繪で編んだ主義一貫せる幼兒讀本。

△文字の讀めない幼兒に取つて心の糧。

△理智と藝術の交響樂。

愈々九月末出來

至急御申し込み下さい。
 お子様方にも御勧め下さい。

東京市小石川區指ヶ谷町

發行所

フレールベル館

電話小石川六三〇一番
 振替東京一九六四〇番